



中国の文化IX 第6回

漢代

紙の誕生

侯
蔡倫字敬仲桂陽人也呂永平末始給事宮掖建初中爲小黃門
及和帝卽位轉中常侍豫參帷幄倫有才學盡心敦慎數犯嚴顏
匡弼得失每至休沐輒閉門絕賓暴體田野後加位尚方令永元
九年監作祕劔及諸器械莫不精工堅密爲後世法自古書契多
編呂竹簡其用縑帛者謂之爲紙縑貴而簡重竝不便於人倫迺
造意用樹膚麻頭及敝布魚網呂爲紙元興元年奏上之帝善其
能自是莫不從用焉故天下咸稱蔡侯紙相州記曰未陽縣北有漢黃門蔡倫宅宅西有一石曰云是倫春紙曰也
元初元年鄧太后呂倫久在宿衛封爲龍亭侯龍亭縣故城在今洋州興
邑三百戶後爲長樂太僕四年帝呂經傳之文多不正定迺選通
儒謁者劉友博士良史詣東觀各讐校漢家法令倫監典其事
倫初受竇后詔旨誣陷安帝祖母宋貴人及太后崩安帝始親萬

機勅使自廷尉倫恥受辱迺沐浴整衣冠飲藥而死國除
孫程字稚卿涿郡新城人也東觀記曰北新城人衛康叔之曹孫程又之後東觀自史官懼程等帝權故曲爲文飾帝時爲中黃門程事長樂宮時鄧太后臨朝帝不親
政事小黃門李閏與帝乳母王聖常共譖太后兄執事程等言
欲廢帝立平原王德帝每忿問太后崩遂誅鄧氏而廢平原王
封閏雍鄉侯又小黃門江京等進初迎帝於邸京功封都鄉
侯食邑各三百戶京立奏曰帝初立京等皆功臣也

これは春秋時代の思想家である孔子の事跡を描いた『孔子聖蹟図』の一部である。明代に描かれたこの絵巻には一つ大きな誤りがある。それは何か？



(明) 佚名『孔子聖蹟図』(杏壇礼楽、山東省曲阜孔府蔵)

孔子の時代には紙はなく、本や書
写材料には木簡、竹簡が使われてい
た。



爲小雅始文王爲大雅始清廟爲頌始三百五篇孔子皆弦歌之
以求合韶武雅頌之音禮樂自此可得而述以備王道成六藝孔
子晚而喜易序彖繫象說卦文言讀易韋編三絕曰假我數年若
是我於易則彬彬矣孔子以詩書禮樂教弟子蓋三千焉身通六
藝者七十有二人如顏濁鄒之徒頗受業者甚衆孔子以四教文
行忠信何晏曰四者有形質可舉以教絕四毋意何晏曰以道爲度故不任意也毋必何晏曰用之則行舍之則藏故無專必毋固何晏曰此三者人所共無固行也毋我何晏曰述古而不自作處羣萃而不自異唯道是從故不有其身所慎齊戰疾何晏曰此三者人所不能慎而夫子慎也
子罕言利與命與仁何晏曰罕者希也利者義之和也命者天之命也仁者行之盛也寡能及之故希言之不憤不啓舉
一隅不以三隅反則弗復也鄭玄曰孔子與人言必待其人心憤憤口悱悱乃後啓發爲說之如此則識思之深也說則舉一端以語之其人不思其類則不重教也其於鄉黨恂恂似不能言者王肅曰恂恂溫恭貌也其於宗廟朝廷辯
辯言唯謹爾鄭玄曰唯辯而謹敬也朝與士大夫言閤閤如也孔安國曰中正之貌也與下大
夫言侃侃如也孔安國曰和樂貌也入公門鞠躬如也趨進翼如也孔安國曰言端好也君
召使僕鄭玄曰有賓客使迎之也色勃如也孔安國曰必變色君命召不俟駕行矣鄭玄曰急趨君命也行矣而
魚孔子割晚申駕隨之くして易を喜ぶ。坐中略易
を讀むに、韋編①三たび絶える。曰く、
「我に數年を假せ。若し是らば、我
後は易に於いて則ち彬彬たらん。」
章可得聞也何晏曰章明文彰形也（前漢）司馬遷『史記』孔子世家

【解説】

①韋編：木簡を結ぶ革紐のこと。孔子は晩年、易経を好み、そのために木簡を結ぶ革紐が三度も擦り切れたという。史記が伝えるこの逸話は、勤勉さを表す「韋編三絶」という成語で知られている。

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC		
周 1046BC-771BC		
春秋戦国時代 770BC-221BC		
秦 221BC-207BC		
漢 206BC-220AD		
魏 220-265	蜀 221-263	吳 222-280
晋 265-316		
五胡十六国時代		東晋 317-420
北朝 439-589		南朝 420-589
隋 581-619		
唐 618-907		
五代十国 907-960		
遼	北宋 960-1127	
金 1115-1234	南宋 1127-1279	
元 1271-1368		
明 1368-1644		
清 1616-1912		
中華民國 1912-1949		
中華人民共和國 1949-		

孔子(前551～前479)

紙が発明される

漢民族の形成と紙の誕生

秦が天下統一からわずか十四年で滅んだ後、中国をふたたび統一したのは漢であった。

儒教思想をもとに新たなナシヨナル・アイデンティティーを築いた漢の名は、やがて中華民族の代名詞となっていく。

漢代には、中国の文化史上、画期的な事件が起った。紙の誕生である。紙という安価な書写材料の誕生により、それまで歴史の闇に消えていた多くの文学作品が記録され、後世に伝えられた。後漢末の実話を描いた長編叙事詩「焦仲卿の妻」もそうした作品の一つである。

講義内容

第一節 漢

—民族の代名詞となった帝国の誕生

第二節 紙の誕生

—紙はいつ誕生したのか

第三節 焦仲卿の妻

—後漢末の実話を描いた長編叙事詩

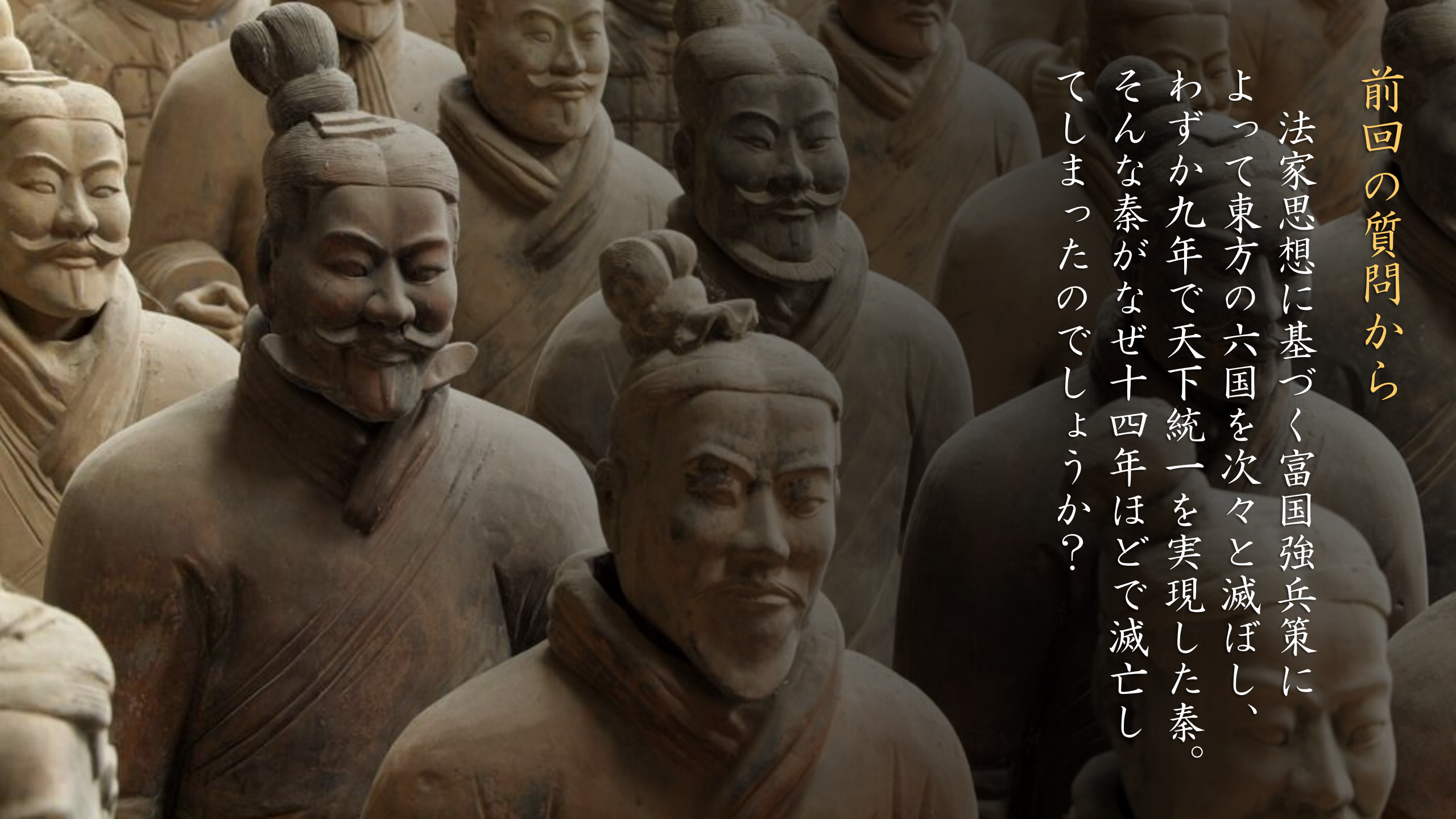
第一節

漢

民族の代名詞となった帝国の誕生

前回の質問から

法家思想に基づく富国強兵策によって東方の六国を次々と滅ぼし、わずか九年で天下統一を実現した秦。そんな秦がなぜ十四年ほどで滅亡してしまったのでしょうか？



信賞必罰

手柄のあった者には必ず褒賞を与え、
罪を犯した者は容赦なく処罰せよ



商鞅(B.C.390?~B.C.338)

法家思想に基づく厳罰主義

法家思想に基づく富国強兵策によって天下統一を実現した秦は、同じ法家思想に基づく厳罰主義によって人々を支配しようとした。しかし、その酷薄な政治は、やがて民衆の反乱を招くこととなった。



資料映像：NHKスペシャル「故宮」より

法家思想の限界——陳勝・呉広の乱

始皇帝が死んだ翌年、九百名の農民が軍に徴用され、陳勝と呉広が屯長として引率することになった。

爲左秦役成多富者役盡兼取貧弱者而發
 之者也適音直革反又音礫故漢書有七料
 適戍者屯兵而守也地理志漁陽縣名在漁
 陽郡也○正義曰括地志云漁陽故城在檀
 州密雲縣南十八里在漁水之陽也
 長會天大雨道不通度已失期失期法皆斬
 陳勝吳廣皆次當行為屯

陳涉世家

陳勝吳廣乃謀曰今亡亦死舉大計亦死等死死國可乎索隱曰謂欲經營國假使不成而敗猶愈爲戍卒而死也陳勝曰天下皆秦父矣吾聞二世少子也不當立索隱曰姚氏按隱士遺章邯書云李斯爲二世廢十七兄而王今王則二世是始皇第十八當立者乃公子扶蘇也

（前漢）司馬遷『史記』陳勝世家

法家思想の限界——陳勝・吳広の乱

陳勝世家
長會天大雨道不通度已失期失期法皆斬
之者左秦役成多富者役盡兼取貧弱者而發
適成者也適音宜革反又音礫故漢書有七
陽郡也○正義曰括地志云漁陽故城在檀
州密雲縣南十八里在漁水之陽也

陳勝吳廣乃謀曰今亡亦死舉大計亦死等
死死國可乎索隱曰謂欲經營國假使不
成而敗猶愈為成卒而死也
陳勝曰天下皆秦父矣吾聞二世少子也不
當立索隱曰姚氏按隱士遺章邯書云李斯
為二世廢十七兄而王今王則二世是
陳勝與吳廣者乃公子扶蘇之弟也

陳勝と吳広は、こう考えた。

「いま逃げてでも死刑、反乱を起こし
ても死刑だ。同じ死刑になるなら、
国を変えるために死のうじやない
か。」

（前漢）司馬遷『史記』陳勝世家

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
700BC			
600BC			
500BC			
400BC			
300BC	秦 221BC-207BC		
200BC			
100BC	漢 206BC-220AD		
0			
100			
200			
300	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
400	晋 265-316		
500	五胡十六国時代		東晋 317-420
600	北朝 439-589		南朝 420-589
700	隋 581-619		
800	唐 618-907		
900			
1000	五代十国 907-960		
1100	遼	北宋 960-1127	
1200	金 1115-1234	南宋 1127-1279	
1300	元 1271-1368		
1400	明 1368-1644		
1500			
1600			
1700	清 1616-1912		
1800			
1900	中華民國 1912-1949		
2000	中華人民共和国 1949-		

法家思想による
嚴罰主義

民衆の反乱により秦滅亡(BC207)

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
700BC			
600BC			
500BC			
400BC			
300BC	秦 221BC-207BC		
200BC	漢 206BC-220AD		
100BC			
0			
100	魏 220-265		
200			
300	蜀 221-263		
400	晋 265-316		
500	五胡十六国時代		東晋 317-420
600	北朝 439-589		南朝 420-589
700	隋 581-619		
800	唐 618-907		
900			
1000	五代十国 907-960		
1100	遼	北宋 960-1127	
1200	金 1115-1234		南宋 1127-1279
1300	元 1271-1368		
1400	明 1368-1644		
1500			
1600			
1700	清 1616-1912		
1800			
1900	中華民國 1912-1949		
2000	中華人民共和国 1949-		

法家思想による
嚴罰主義

漢の武帝、儒教を国教化(BC136)

儒教思想による
教化主義

儒教が唱える徳と礼による政治

子曰く、之を導くに政^①を以てし、之を斉うるに刑を以てすれば、民は免れて恥無し。之を導くに徳^②を以てし、之を斉うるに礼を以てすれば、恥ありて且つ格し。

論語為政第二

【注釈】

- ①政、法律による規制
- ②徳、道德による教化

之往告之以貪而樂道來答以切確琢磨者
子曰不患人之不已知患己不知人也

論語為政第二

凡二十四章

何晏集解

子曰為政以德譬如北辰居其所而衆星共之

之包氏曰徳者無爲譬猶北辰之不移而衆星共之子曰詩三百

一言以蔽之包氏曰蔽猶當也曰思無邪

子曰道之以政孔安國曰政謂法教齊之以刑

民免而無恥孔安國曰道之以徳

齊之以禮有恥且格格正也子曰吾

十有五而志于學三十而立有所成立四十而不

惑孔安國曰五十而知天命孔安國曰知天命之終始六

儒教が唱える徳と礼による政治

孔子は言った。「人を法律によつて指導し、刑罰によつて秩序づけたのでは、罪を免れた者はそれを恥とはしない。しかし、人を道徳で指導し、礼儀によつて秩序づけられれば、恥を知り、自らを正すであらう。」

論語為政第二

諸往而知來者

詩以成孔子義善取類故然

之往告之以貪而樂道來答以切確琢磨者

子曰不患人之不已

知患己不知人也

論語為政第二

凡二十四章

何晏集解

子曰為政以德譬如北辰居其所而眾星共之

之

包氏曰德者無為譬猶北辰之不移而眾星共之

子曰詩三百

孔安

國曰篇之大數

一言以蔽之

包氏曰蔽猶當也

曰思無邪

包氏

日歸

子曰道之以政

孔安國曰政謂法教

齊之以刑

馬融

日齊整之以刑罰

民免而無恥

孔安國曰

道之以徳

三

包氏曰徳謂道徳

齊之以禮有恥且格

格正也

子曰吾

十有五而志于學三十而立

有所成立

四十而不

惑孔安國曰不疑惑

五十而知天命

孔安國曰知天命之終始

六

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC	
1500BC		
1400BC		
1300BC		
1200BC		
1100BC	周 1046BC-771BC	
1000BC		
900BC		
800BC	春秋戦国時代 770BC-221BC	
700BC		
600BC		
500BC		
400BC		
300BC	秦 221BC-207BC	
200BC	漢 206BC-220AD	
100BC		
0		
100	魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280	
200		
300	晋 265-316	
400	五胡十六国時代	東晋 317-420
500	北朝 439-589	南朝 420-589
600	隋 581-619	
700	唐 618-907	
800		
900	五代十国 907-960	
1000	遼	北宋 960-1127
1100	金 1115-1234 南宋 1127-1279	
1200		
1300	元 1271-1368	
1400	明 1368-1644	
1500		
1600		
1700	清 1616-1912	
1800		
1900	中華民國 1912-1949	
2000	中華人民共和國 1949-	

法家思想による
嚴罰主義

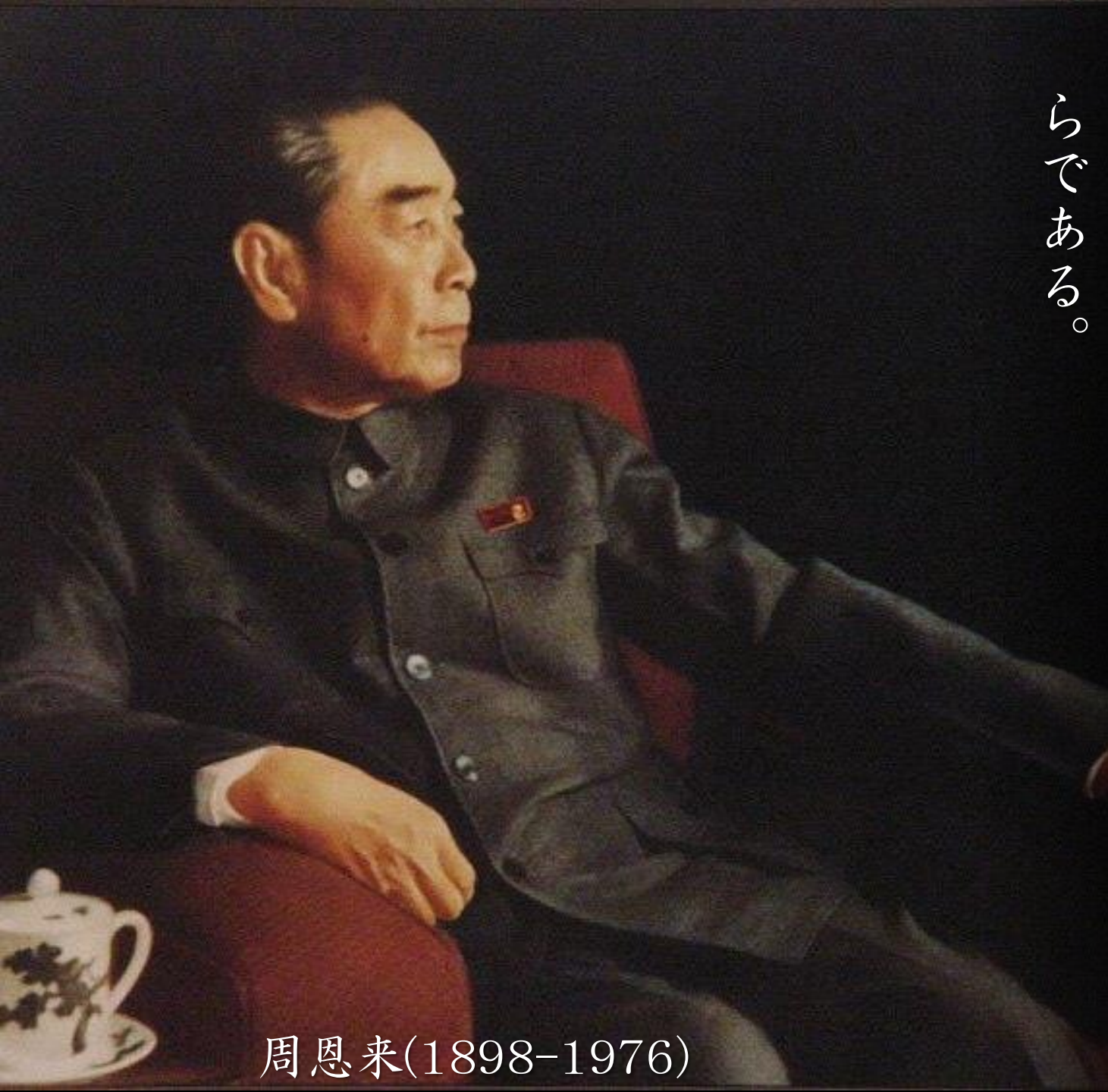
漢の武帝、儒教を国教化(BC136)

儒教思想による
教化主義
↓
漢民族の形成

憎しみの連鎖を断つには

戦後、連合国が行った戦犯裁判では、起訴された日本人戦犯約五千六百人中、約千人が処刑された。

一方、一九五六年に中国が行った裁判では、一〇六九人中、処刑されたものは一人もいなかった。日本への留学経験もある当時の首相・周恩来が「制裁や復讐では憎しみの連鎖は切れない」という指示を出したからである。



周恩来(1898-1976)



紙の誕生

紙はいつ誕生したのか？

第二節

機勅使自致廷尉倫恥受辱遂沐浴整衣冠飲藥而死國除
史官懼程等權故曲為文
 孫程字稚卿涿郡新城人也東觀記曰北新城人衛康叔之曹孫程父之後東觀自十九人與程同功者皆敘其所承本系蓋當時
 政事小黃門李閏與帝乳母王聖等共譖太后兄執金吾惲等言
 欲廢帝立平原王德帝每忿惲太后崩遂誅鄧氏廢平原王
 封閏雍鄉侯小黃門江京京進初迎帝於邸功封都鄉

侯
 蔡倫字敬仲桂陽人也呂永平末始給事宮掖建初中為小黃門
 及和帝即位轉中常侍豫參帷幄倫有才學盡心敦慎數犯嚴顏
 匡弼得失每至休沐輒閉門絕賓暴體田野後加位尚方令永元
 九年監作祕劍及諸器械莫不精工堅密為後世法自古書契多
 編呂竹簡其用縑帛者謂之為紙縑貴而簡重竝不便於人倫迺
 造意用樹膚麻頭及敝布魚網呂為紙元興元年奏上之帝善其
 能自是莫不從用焉故天下咸稱蔡侯紙相州記曰未陽縣北有漢黃門蔡倫宅宅西有石曰云是倫春紙曰也
 元初元年鄧太后呂倫久在宿衛封為龍亭侯龍亭縣故城在今洋州興
 邑三百戶後為長樂太僕四年帝呂經傳之文多不正定迺選通
 儒謁者劉珍及博士良史詣東觀各讐校漢家法令倫監典其事
 倫初受竇后諷旨誣陷安帝祖母宋貴人及太后崩帝始親萬

紙を発明したのは誰か？

「紙は西暦一〇五年、後漢の蔡倫が発明した」

世界史の教科書に紹介されているこの説は、考古学上の発見と、中国の製紙技術史に関する研究によって、大きく修正を迫られている。

では、紙はいつたいいつごろ誕生し、また、どのようにして世界中に伝播していったのであろうか。



中国人民邮政

8.1 92.9

1962 (297)

侯

蔡倫字敬仲桂陽人也。呂永平末始給事宮掖建初中爲小黃門及和帝卽位轉中常侍豫參帷幄倫有才學盡心敦慎數犯嚴顏匡弼得失每至休沐輒閉門絕賓暴體田野後加位尚方令永元九年監作祕劔及諸器械莫不精工堅密爲後世法自古書契多編呂竹簡其用縑帛者謂之爲紙縑貴而簡重竝不便於人倫迺造意用樹膚麻頭及敝布魚網呂爲紙元興元年奏上之帝善其能自是莫不從用焉故天下咸稱蔡侯紙。相州記曰未陽縣北有漢黃門蔡倫宅宅西有一石曰云是倫舂紙臼也元初元年鄧太后呂倫久在宿衛封爲龍亭侯。龍亭縣故城在今洋州興執縣東明月池在其側邑三百戶後爲長樂太僕四年帝呂經傳之文多不正定迺選通儒謁者劉珍及博士良史詣東觀各讐校漢家法令倫監典其事倫初受竇后詆旨誣陷安帝祖母宋貴人及太后崩安帝始親萬

機勅使自致廷尉倫恥受辱迺沐浴整衣冠飲藥而死國除

蔡倫

（？）（一）（二）

史官懼程等威權故曲爲文飾安帝時爲中黃門給事長樂宮時鄧太后臨朝帝不親

政事蔡倫字は敬仲、桂陽①の人である。

永平年間（西暦五八〜七五年）の末、初

めて宮中に勤め、建初年間（西暦七六

〜八四年）に小黃門となつた。

和帝が即位すると、中常侍に昇進

し、皇帝の身近に仕えた。

後漢書卷七十八蔡倫伝

【注釈】

①桂陽：現在の湖南省郴州（ちんしゅう）市。



湖南省郴州市

侯

蔡倫字敬仲桂陽人也呂永平末始給事宮掖建初中爲小黃門
及和帝卽位轉中常侍豫參帷幄倫有才學盡心敦慎數犯嚴顏
匡弼得失每至休沐輒閉門絕賓暴體田野後加位尚方令永元
九年監作祕劔及諸器械莫不精工堅密爲後世法自古書契多
編呂竹簡其用縑帛者謂之爲紙縑貴而簡重竝不便於人倫迺
造意用樹膚麻頭及敝布魚網呂爲紙元興元年奏上之帝善其
能自是莫不從用焉故天下咸稱蔡侯紙相州記曰未陽縣北有漢黃門蔡倫宅宅西有一石曰云是倫春紙曰也
元初元年鄧太后呂倫久在宿衛封爲龍亭侯龍亭縣故城在今洋州興挑縣東明月池在其側
邑三百戶後爲長樂太僕四年帝呂經傳之文多不正定迺選通
儒謁者劉珍及博士良史詣東觀各讐校漢家法令倫監典其事
倫初受竇后詆旨誣陷安帝祖母宋貴人及太后崩安帝始親萬

機勅使自致廷尉倫恥受辱迺沐浴整衣冠飲藥而死國除

蔡倫（？）
（一）
（二）

史官懼釋等咸權故曲爲文飾安帝時爲中黃門給事長樂宮時鄧太后臨朝帝不親

政事蔡倫は才能と學問があり兄誠実で
慎重な人物であつた。后崩逐誅鄧氏而廢平原王

皇帝の怒りに触れるようなことが

あつても、しばしばその得失を論じ、

皇帝を補佐する一方、休日には門を

閉ざして來客を断ち、野外にその姿

を見せていた。

後漢書卷七十八蔡倫伝

侯

蔡倫字敬仲桂陽人也。呂永平末始給事宮掖建初中爲小黃門及和帝卽位轉中常侍豫參帷幄倫有才學盡心敦慎數犯嚴顏匡弼得失每至休沐輒閉門絕賓暴體田野後加位尚方令永元九年監作祕劔及諸器械莫不精工堅密爲後世法自古書契多編呂竹簡其用縑帛者謂之爲紙縑貴而簡重竝不便於人倫迺造意用樹膚麻頭及敝布魚網呂爲紙元興元年奏上之帝善其能自是莫不從用焉故天下咸稱蔡侯紙。相州記曰未陽縣北有漢黃門蔡倫宅西有一石曰云是倫春紙日也元初元年鄧太后呂倫久在宿衛封爲龍亭侯。龍亭縣故城在今洋州興執縣東明月池在其側邑三百戶後爲長樂太僕四年帝呂經傳之文多不正定迺選通儒謁者劉珍及博士良史詣東觀各讐校漢家法令倫監典其事倫初受竇后諷旨誣陷安帝祖母宋貴人及太后崩安帝始親萬

機勅使自致廷尉倫恥受辱迺沐浴整衣冠飲藥而死國除

孫程字稚卿涿郡新城人也

東觀記曰北新城人衛康叔之曹孫林父之後東觀自

蔡倫

(?) 帝時爲中黃門

給事長樂宮時鄧太后臨朝帝不親

政事小黃門李閏與帝乳母王聖常共譖太后兄執金吾惲等言

欲廢後(皇帝の御物を作ることを主な王

職掌とする)尚方令の位を与えられ、

永元九年(西暦九七年)、秘劍やさ

虐まざまな道具の製作を監督した。と

れも精工かつ頑丈で、後世の手本と

なった。

後漢書卷七十八蔡倫伝

後漢の御家騒動―宋貴人誣告事件

幼いころ宦官として宮中に入り、皇帝の側近として誠実に仕えてきた蔡倫であったが、その後、後漢の皇室内で起こった跡目争いに巻き込まれ、不幸な末路を歩むことになる。



中国人民邮政

1962.8.1

(297)

侯

蔡倫字敬仲桂陽人也。呂永平末始給事宮掖建初中爲小黃門及和帝卽位轉中常侍豫參帷幄倫有才學盡心敦慎數犯嚴顏匡弼得失每至休沐輒閉門絕賓暴體田野後加位尚方令永元九年監作祕劔及諸器械莫不精工堅密爲後世法自古書契多編呂竹簡其用縑帛者謂之爲紙縑貴而簡重竝不便於人倫迺造意用樹膚麻頭及敝布魚網呂爲紙元興元年奏上之帝善其能自是莫不從用焉故天下咸稱蔡侯紙。相州記曰未陽縣北有漢黃門蔡倫宅西有一石曰云是倫春紙日也元初元年鄧太后呂倫久在宿衛封爲龍亭侯。龍亭縣故城在今洋州興執縣東明月池在其側邑三百戶後爲長樂太僕四年帝呂經傳之文多不正定迺選通儒謁者劉珍及博士良史詣東觀各讐校漢家法令倫監典其事倫初受竇后諷旨誣陷安帝祖母宋貴人及太后崩安帝始親萬

機勅使自致廷尉倫恥受辱迺沐浴整衣冠飲藥而死國除

孫程字稚卿涿郡新城人也

東觀記曰北新城人衛康叔之曾孫林父之後東觀自

史官懼程等威權故曲爲文飾

安帝時爲中黃門給事長樂宮時鄧太后臨朝帝不親

政事後漢の御家騷動上宋貴人誣告事件惺等言

欲廢帝立平原王德帝每忿懼及太后崩遂誅鄧氏而廢平原王

封國後漢の第三代皇帝・章帝の皇后・

竇后には子供がいなかった。そこで、

竇后は章帝の側室の梁氏が生んだ劉

肇(後の和帝)を養子に迎えた。

【宋貴人誣告事件関係図】

竇后 (皇后。劉肇を養子に迎える)

梁氏 (側室。劉肇の実母)

劉肇 (④和帝)

③章帝

劉慶 (皇太子) — ⑤安帝

宋貴人 (側室。呪詛の罪で自殺)

侯

蔡倫字敬仲桂陽人也呂永平末始給事宮掖建初中爲小黃門及和帝卽位轉中常侍豫參帷幄倫有才學盡心敦慎數犯嚴顏匡弼得失每至休沐輒閉門絕賓暴體田野後加位尚方令永元九年監作祕劔及諸器械莫不精工堅密爲後世法自古書契多編呂竹簡其用縑帛者謂之爲紙縑貴而簡重竝不便於人倫迺造意用樹膚麻頭及敝布魚網呂爲紙元興元年奏上之帝善其能自是莫不從用焉故天下咸稱蔡侯紙相州記曰未陽縣北有漢黃門蔡倫宅宅西有石曰云是倫春紙曰也元初元年鄧太后呂倫久在宿衛封爲龍亭侯龍亭縣故城在今洋州興邑三百戶後爲長樂太僕四年帝呂經傳之文多不正定迺選通儒謁者劉珍及博士良史詣東觀各讐校漢家法令倫監典其事倫初受竇后諷旨誣陷安帝祖母宋貴人及太后崩安帝始親萬

機勅使自致廷尉倫恥受辱迺沐浴整衣冠飲藥而死國除

孫程字稚卿涿郡新城人也

東觀記曰北新城人衛康叔之曹孫林父之後東觀自史官懼程等威權故曲爲文飾安帝時爲中黃門給事長樂宮時鄧太后臨朝帝不親

後漢の御家騒動主宋貴人誣告事件程等言

欲廢帝立平原王德帝每忿懼及太后崩遂誅鄧氏而廢平原王

竇后は養子に迎えた劉肇に帝位を

継がせようと、皇太子・劉慶の母で

ある宋貴人に冤罪をかけ、自殺に追

いやった。そして劉肇の実母・梁氏

にも冤罪をかけて自殺させた。

【宋貴人誣告事件関係図】

竇后（皇后。劉肇を養子に迎える）

~~梁氏~~（側室。劉肇の実母）

劉肇（④和帝）

③章帝

劉慶（皇太子）——⑤安帝

~~宋貴人~~（側室。呪詛の罪で自殺）

侯

蔡倫字敬仲桂陽人也。呂永平末始給事宮掖建初中爲小黃門及和帝卽位轉中常侍豫參帷幄倫有才學盡心敦慎數犯嚴顏匡弼得失每至休沐輒閉門絕賓暴體田野後加位尚方令永元九年監作祕劔及諸器械莫不精工堅密爲後世法自古書契多編呂竹簡其用縑帛者謂之爲紙縑貴而簡重竝不便於人倫迺造意用樹膚麻頭及敝布魚網呂爲紙元興元年奏上之帝善其能自是莫不從用焉故天下咸稱蔡侯紙。相州記曰未陽縣北有漢黃門蔡倫宅宅西有一石曰云是倫春紙臼也元初元年鄧太后呂倫久在宿衛封爲龍亭侯。龍亭縣故城在今洋州興邑三百戶後爲長樂太僕四年帝呂經傳之文多不正定迺選通儒謁者劉珍及博士良史詣東觀各讐校漢家法令倫監典其事倫初受竇后諷旨誣陷安帝祖母宋貴人及太后崩安帝始親萬

機勅使自致廷尉倫恥受辱迺沐浴整衣冠飲藥而死國除

孫程字稚卿涿郡新城人也

東觀記曰北新城人衛康叔之曾孫林父之後東觀自

史官懼程等威權故曲爲文飾

安帝時爲中黃門給事長樂宮時鄧太后臨朝帝不親

後漢の御家騷動主宋貴人誣告事件程等言

欲廢帝立平原王德帝每忿懼及太后崩遂誅鄧氏而廢平原王

蔡倫は、当初、（章帝の皇后である）

竇后から密命を受け、安帝の祖母である宋貴人を嘘の訴えによって陥れたことがあった。

後漢書卷七十八蔡倫伝

【宋貴人誣告事件関係図】

竇后（皇后。劉肇を養子に迎える）

梁氏（側室。劉肇の実母）

——劉肇（④和帝）

③章帝

——劉慶（皇太子）——⑤安帝

~~宋貴人~~（側室。呪詛の罪で自殺）

侯

蔡倫字敬仲桂陽人也。呂永平末始給事宮掖建初中爲小黃門及和帝卽位轉中常侍豫參帷幄倫有才學盡心敦慎數犯嚴顏匡弼得失每至休沐輒閉門絕賓暴體田野後加位尚方令永元九年監作祕劔及諸器械莫不精工堅密爲後世法自古書契多編呂竹簡其用縑帛者謂之爲紙縑貴而簡重竝不便於人倫迺造意用樹膚麻頭及敝布魚網呂爲紙元興元年奏上之帝善其能自是莫不從用焉故天下咸稱蔡侯紙。相州記曰未陽縣北有漢黃門蔡倫宅宅西有一石曰云是倫春紙臼也元初元年鄧太后呂倫久在宿衛封爲龍亭侯。龍亭縣故城在今洋州興邑三百戶後爲長樂太僕四年帝呂經傳之文多不正定迺選通儒謁者劉珍及博士良史詣東觀各讐校漢家法令倫監典其事倫初受竇后諷旨誣陷安帝祖母宋貴人及太后崩安帝始親萬

機勅使自致廷尉倫恥受辱迺沐浴整衣冠飲藥而死國除

孫程字稚卿涿郡新城人也

史官懼程等威權故曲爲文飾

東觀記曰北新城人衛康叔之曾孫林父之後東觀自

此以下十九人與程同功者皆敘其所承本系蓋當時

後漢の御家騒動主宋貴人誣告事件程等言

竇太后が亡くなり、安帝が自ら政

治を行うようになると、(蔡倫に)裁判

所へ出廷するよう命じた。蔡倫は辱

めを受けるのを恥じ、沐浴して衣冠

を整え、毒藥を飲んで自殺した。

後漢書卷七十八蔡倫伝

【宋貴人誣告事件関係図】

竇后 (皇后。劉肇を養子に迎える)

梁氏 (側室。劉肇の実母)

劉肇 (④和帝)

③章帝

劉慶 (皇太子)

⑤安帝

宋貴人 (側室。呪詛の罪で自殺)

侯

蔡倫字敬仲桂陽人也。呂永平末始給事宮掖建初中爲小黃門及和帝卽位轉中常侍豫參帷幄倫有才學盡心敦慎數犯嚴顏匡弼得失每至休沐輒閉門絕賓暴體田野後加位尚方令永元九年監作祕劔及諸器械莫不精工堅密爲後世法自古書契多編呂竹簡其用縑帛者謂之爲紙縑貴而簡重竝不便於人倫迺造意用樹膚麻頭及敝布魚網呂爲紙元興元年奏上之帝善其能自是莫不從用焉故天下咸稱蔡侯紙。相州記曰未陽縣北有漢黃門蔡倫宅宅西有石曰云是倫春紙曰也元初元年鄧太后呂倫久在宿衛封爲龍亭侯。龍亭縣故城在今洋州興邑三百戶後爲長樂太僕四年帝呂經傳之文多不正定迺選通儒謁者劉珍及博士良史詣東觀各讐校漢家法令倫監典其事倫初受竇后詆旨誣陷安帝祖母宋貴人及太后崩安帝始親萬

蔡倫と紙

むかしから書物には竹簡が多く使われ、絹布を使う場合、これを紙と呼んでいた。絹は値段が高く、竹簡は重く、ともに不便であった。

そこで蔡倫は、樹膚や麻、ぼろ布、魚網を使って紙を作る方法を考案した。

元興元年（西暦一〇五年）、これを皇帝に上奏した。皇帝は、その才能を称え、以後、みなこれを使うようになった。こうして世の人々はこれを「蔡侯紙」と呼んだ。

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC		
周 1046BC-771BC		
春秋戦国時代 770BC-221BC		
秦 221BC-207BC		
漢 206BC-220AD		
魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
晋 265-316		
五胡十六国時代		東晋 317-420
北朝 439-589	南朝 420-589	
隋 581-619		
唐 618-907		
五代十国 907-960		
遼	北宋 960-1127	
金 1115-1234	南宋 1127-1279	
元 1271-1368		
明 1368-1644		
清 1616-1912		
中華民国 1912-1949		
中華人民共和国 1949-		

竹帛の時代

蔡倫が紙を発明？(105年)

紙の時代

世界史の教科書に紹介されている
「紙は西暦一〇五年、後漢の蔡倫が
発明した」という説は、ある発見に
よって修正を迫られている。その発
見とは何か？



紀92. 8・1

(297) 1962

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
700BC			
600BC			
500BC			
400BC			
300BC	秦 221BC-207BC		
200BC			
100BC	漢 206BC-220AD		
0			
100	魏 220-265 蜀 221-263 呉 222-280		
200			
300	五胡十六国時代 東晋 317-420		
400			
500	北朝 439-589 南朝 420-589		
600			
700	隋 581-619		
800			
900	唐 618-907		
1000			
1100	五代十国 907-960		
1200			
1300	遼 北宋 960-1127		
1400			
1500	金 1115-1234 南宋 1127-1279		
1600			
1700	元 1271-1368		
1800			
1900	明 1368-1644		
2000			
	清 1616-1912		
	中華民國 1912-1949		
	中華人民共和國 1949-		



1933年、黄文弼ら西北中国考查団が、新疆ロプノールに近い漢代の烽火台遺跡から紙(ロプノール紙)を発見。同時に出土した木簡の年号(前漢宣帝黄龍元年=BC49)から前漢時代のもものと推定されたが、日中戦争の中で焼失した。

1942年、考古学者の劳幹と石璋如が漢代の居延遺跡(現内蒙古エジン旗)の烽火台遺跡から漢字が書かれた漢代の紙(査科爾帖紙)を発見。周辺で発見された木簡から下限は後漢の永元10年=98年、上限は前漢の昭帝、宣帝の時代(BC89~BC49)と推定された。

1957年、陝西省西安市の東にある灞橋レンガ工場で、土木工事中の作業員が古紙(灞橋紙)を発見。同時に出土した器物から前漢武帝時代(B.C.141~B.C.87)のもものと推定された。

1973年、甘肅省居延考古隊が漢代居延遺跡の肩水金閼跡で古紙(金閼紙)を発見。同地点で出土した木簡の年代や地層から、前漢の宣帝~哀帝の時代(B.C.52~B.C.6)以前のもものと推定された。

1986年、甘肅省文物考古研究所が天水市放馬灘の漢墓から古紙(放馬灘紙)を発見。文帝・景帝時代(B.C.180~B.C.141)のもものと推定され、表面には手書きの地図と見られる図が描かれていた。



資料映像



1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC		
周 1046BC-771BC		
春秋戦国時代 770BC-221BC		
秦 221BC-207BC		
漢 206BC-220AD		
魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
晋 265-316		
五胡十六国時代		東晋 317-420
北朝 439-589	南朝 420-589	
隋 581-619		
唐 618-907		
五代十国 907-960		
遼	北宋 960-1127	
金 1115-1234	南宋 1127-1279	
元 1271-1368		
明 1368-1644		
清 1616-1912		
中華民国 1912-1949		
中華人民共和国 1949-		

竹帛の時代

蔡倫が紙を発明？(105年)

紙の時代

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
700BC			
600BC			
500BC			
400BC			
300BC	秦 221BC-207BC		
200BC			
100BC	漢 206BC-220AD		
0			
100			
200	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
300	晋 265-316		
400	五胡十六国時代		東晋 317-420
500	北朝 439-589		南朝 420-589
600	隋 581-619		
700	唐 618-907		
800			
900	五代十国 907-960		
1000	遼	北宋 960-1127	
1100		南宋 1127-1279	
1200	金 1115-1234	南宋 1127-1279	
1300	元 1271-1368		
1400	明 1368-1644		
1500			
1600			
1700	清 1616-1912		
1800			
1900	中華民國 1912-1949		
2000	中華人民共和国 1949-		

竹帛の時代

前漢時代の紙の発見

蔡倫が紙を発明？(105年)

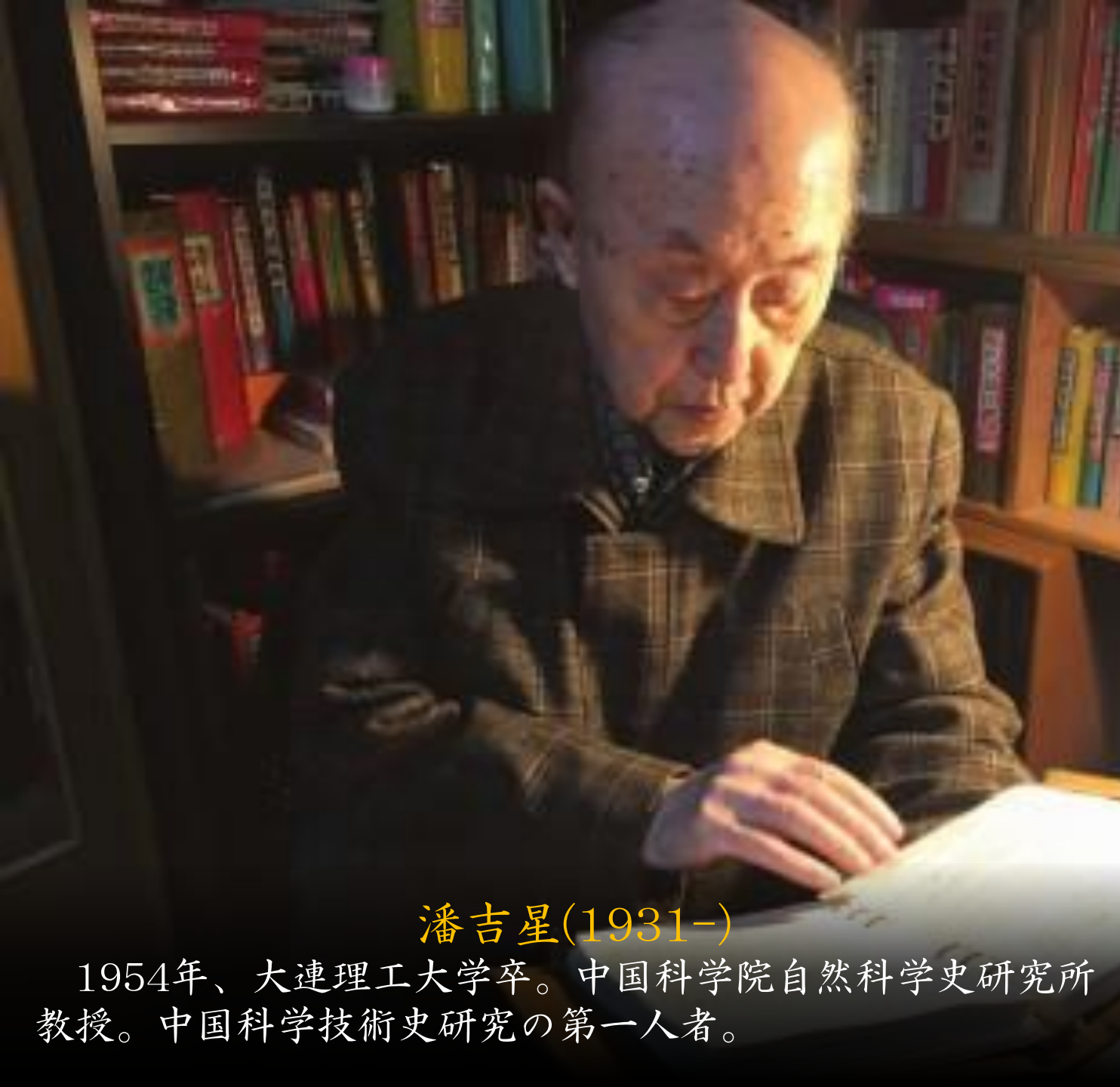
紙の時代

旧説では「紙を発明した」といわ
れていた後漢の蔡倫は、いまどのよ
うに評価されているのか？



紀92. 8・1

(297) 1962



潘吉星(1931-)

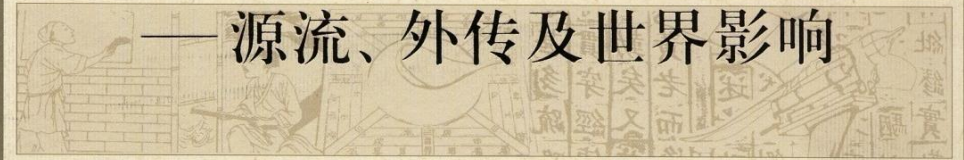
1954年、大連理工大学卒。中国科学院自然科学史研究所教授。中国科学技术史研究の第一人者。

四大發明

潘吉星◎著
By Pan Jixing

中国古代四大发明

— 源流、外传及世界影响



The Four Great Inventions of Ancient China:
Their Origin, Development, Spread and Influence in the World



中国科学技术大学出版社
University of Science and Technology of China Press

現代中国における蔡倫の評価

蔡倫以前にも早くからすでに紙は存在したが、彼の貢献を無視するとはできない。それは以下の点にまとめることができる。

潘吉星『中国古代四大発明』

潘吉星(1931-)

現代中国における蔡倫の評価

第一は前漢や後漢初期および同時代の麻紙の製造技術を集大成し、組織的に良質の紙を生産したことである。また、古い魚網を原料とすることで麻紙の製造原料を拡大し、麻紙の技術を改良したことである。

第二は楮の樹皮による製紙を提唱し、木本靱皮繊維による製紙技術を発明し、製紙に新たな原料の来源を切り開き、樹皮を原料とする新たな紙を登場させたことである。

第三は国内の製紙の普及拡大を提唱し、朝廷の支持を得て、各地につぎつぎと製紙工場が建設され、製紙工業の急速な発展を促したことである。

潘吉星◎著
By Pan Jixing

中国古代四大发明

— 源流、外传及世界影响 —

The Four Great Inventions of Ancient China:
Their Origin, Development, Spread and Influence in the World

潘吉星『中国古代四大发明』

中国科学技术大学出版社
University of Science and Technology of China Press

現代中国における蔡倫の評価

このように蔡倫は前代を受け継ぎ、後世に新しい道を切り開いた製紙技術の革新家なのである。

潘吉星『中国古代四大発明』

潘吉星(1931-)

前漢時代に紙が誕生して以降、中国ではどのように利用が広がっていったのか？

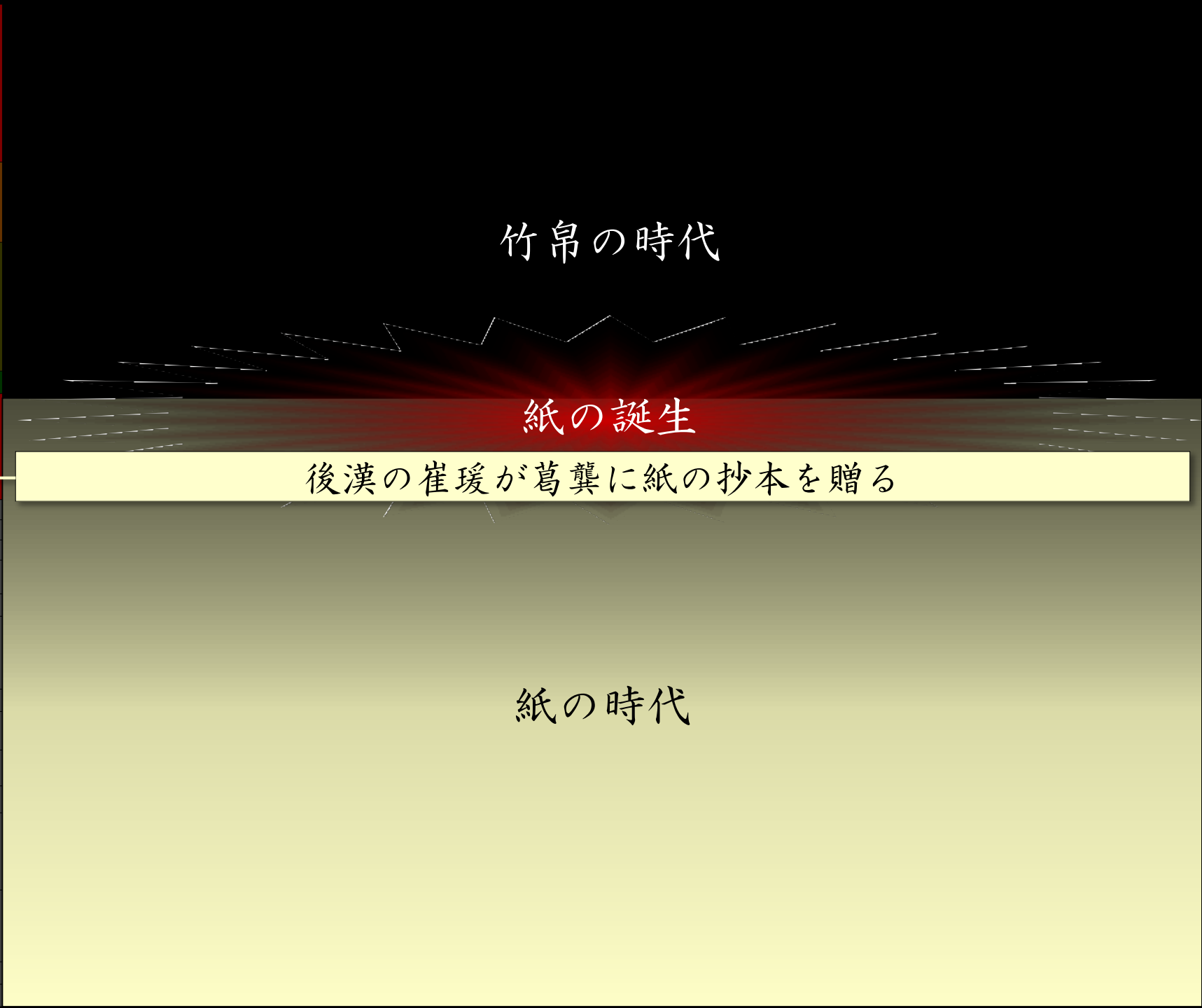
?



紀92. 8・1

(297) 1962

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
600BC			
500BC			
400BC			
300BC			
200BC	秦 221BC-207BC		
100BC	漢 206BC-220AD		
0			
100			
200	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
300	晋 265-316		
400	五胡十六国時代		東晋 317-420
500	北朝 439-589		南朝 420-589
600	隋 581-619		
700	唐 618-907		
800			
900	五代十国 907-960		
1000	遼	北宋 960-1127	
1100		南宋 1127-1279	
1200	金 1115-1234	南宋 1127-1279	
1300	元 1271-1368		
1400	明 1368-1644		
1500			
1600			
1700	清 1616-1912		
1800			
1900	中華民國 1912-1949		
2000	中華人民共和国 1949-		



御書而無所給愚欲請四百
枚付著作吏書寫起居注
與葛元甫書云今遣送許子
書十卷貧不及書但以紙耳
與平原書云前集兄文爲二十
卷書不工紙又惡恨不精謹啓
別三年夢想憶念向月有達伯英
來惠紙四張讀之反覆喜不可言
與書六紙
蜀志李
嚴與雍
閨書六紙辭
兩紙八行
馬融與
竇伯和
書云
楊戲指
喻利害甚切
蜀志楊
戲性雖
簡情省
畧未嘗
以甘言
事希盈紙
加人以
情接物
書符指
事希有
盈紙
楊
修預爲答數紙
文士傳云
楊修爲
魏武主
簿嘗白
事之有風
吹紙亂
遂錯誤
公怒推
問脩慙
懼以實
答
案世語曰
脩爲主
簿而爲
植所友
每當就
植慮事
有次答教
裁出答已
入太祖
怪其捷
推問始
泄附
太

安価な書写材料紙の民間への普及

崔瑗①が葛元甫②に與えし書に云う。

「今、許子十卷を遣送す。貧すれば

素に及ばず。但だ紙を以てするの

み。」

崔瑗與葛元甫書(北堂書鈔③卷一〇四所引)

【解説】

①崔瑗(さいえん七七〜一四二)字は子玉、安平

(現在の河北省安平県)の人。後漢の官吏、文人書

家として知られる。

②葛龔(かつきよう 生没年不詳)字は元甫、梁国寧

陵(現在の河南省寧陵)の人。後漢の官吏。

③北堂書鈔は、完本として現存する中国最古の類書。

隋の虞世南が秘書郎在任中、詔勅をはじめとする
公文書を作成する際の参考書として群書中から語
句をとり出し類別したもの。

御書而無所給愚欲請四百
枚付著作吏書寫起居注
與葛元甫書云今遣送許子
書十卷貧不及書但以紙耳
與平原書云前集兄文爲二十
卷書不工紙又惡恨不精謹啓
別三年夢想憶念向月有達伯英
來惠紙四張讀之反覆喜不可言
與書六紙蜀志李
閨書六紙辭兩紙八行馬融與竇伯和書云楊戲指
喻利害甚切蜀志楊戲性雖簡情省畧未嘗以甘言楊
修預爲答數紙文士傳云楊修爲魏武主簿嘗白事
之有風吹紙亂遂錯誤公怒推問脩慙懼以實答
案世語曰脩爲主簿而爲植所友每當就植慮事有
關付度太祖意預作答教十餘條勅門下教出以
次答教裁出答已入太祖怪其捷推問始泄附太

子紙蔽鼻

三輔故事云衛太子大鼻武帝病太子入

帝怒

案楚策云夫人鄭褒謂新人曰王愛子美矣

雖然惡

子之鼻子爲見王則必拵于鼻新人見王因

拵其鼻

王問故鄭褒曰其似惡聞君王之鼻也王曰

西相去

十餘文於

安価な書写材料

紙

の民間への普及

(後漢の)崔瑗①が、葛龔②に送った

手紙にいう。「今、許子十卷をお送

りします。貧しくて絹は買えないの

で紙を使いました。」

崔瑗與葛元甫書(北堂書鈔③卷一〇四所引)

【解説】

①崔瑗(さいえん七七〜一四二)字は子玉、安平

(現在の河北省安平県)の人。後漢の官吏、文人書

家として知られる。

②葛龔(かつきよう 生没年不詳)字は元甫、梁国寧

陵(現在の河南省寧陵)の人。後漢の官吏。

③北堂書鈔は、完本として現存する中国最古の類書。

隋の虞世南が秘書郎在任中、詔勅をはじめとする
公文書作成の参考書として群書中から語句をとり
出し類別したもの。

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0	漢 206BC-220AD		
100			
200	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
300	晋 265-316		
400	五胡十六国時代	東晋 317-420	
500	北朝 439-589	南朝 420-589	
600	隋 581-619		
700	唐 618-907		
800			
900	五代十国 907-960		
1000	遼	北宋 960-1127	
1100		南宋 1127-1279	
1200	金 1115-1234	南宋 1127-1279	
1300	元 1271-1368		
1400	明 1368-1644		
1500			
1600			
1700	清 1616-1912		
1800			
1900	中華民國 1912-1949		
2000	中華人民共和国 1949-		

竹帛の時代

紙の誕生

後漢の崔瑗が葛龔に紙の抄本を贈る

東晋の桓玄、禁簡令を出す(403)

紙の時代



(宋)太平御覧一〇〇〇卷

禁簡令Ⅱ公文書を竹簡から紙へ

古には紙無し。故に簡を用う。敬
うを主(しめ)すに非ざる也。今、諸の
簡を用いる者は、皆黄紙を以て之に
代えよ。

桓玄①偽事(太平御覧② 卷六百五)

【解説】

- ①桓玄(かんげん、三六九～四〇四)：東晋安帝の元興二年(四〇三年)、帝位を篡奪して国号を楚と改めたが、翌年、劉裕らの軍に敗れ、殺された。
- ②太平御覧：北宋時代、李昉らが勅を奉じて編纂した類書(百科事典)。九七七年に編纂を開始し、九八三年に完成。一〇〇〇巻。



(宋)太平御覽一〇〇〇卷

禁簡令Ⅱ公文書を竹簡から紙へ

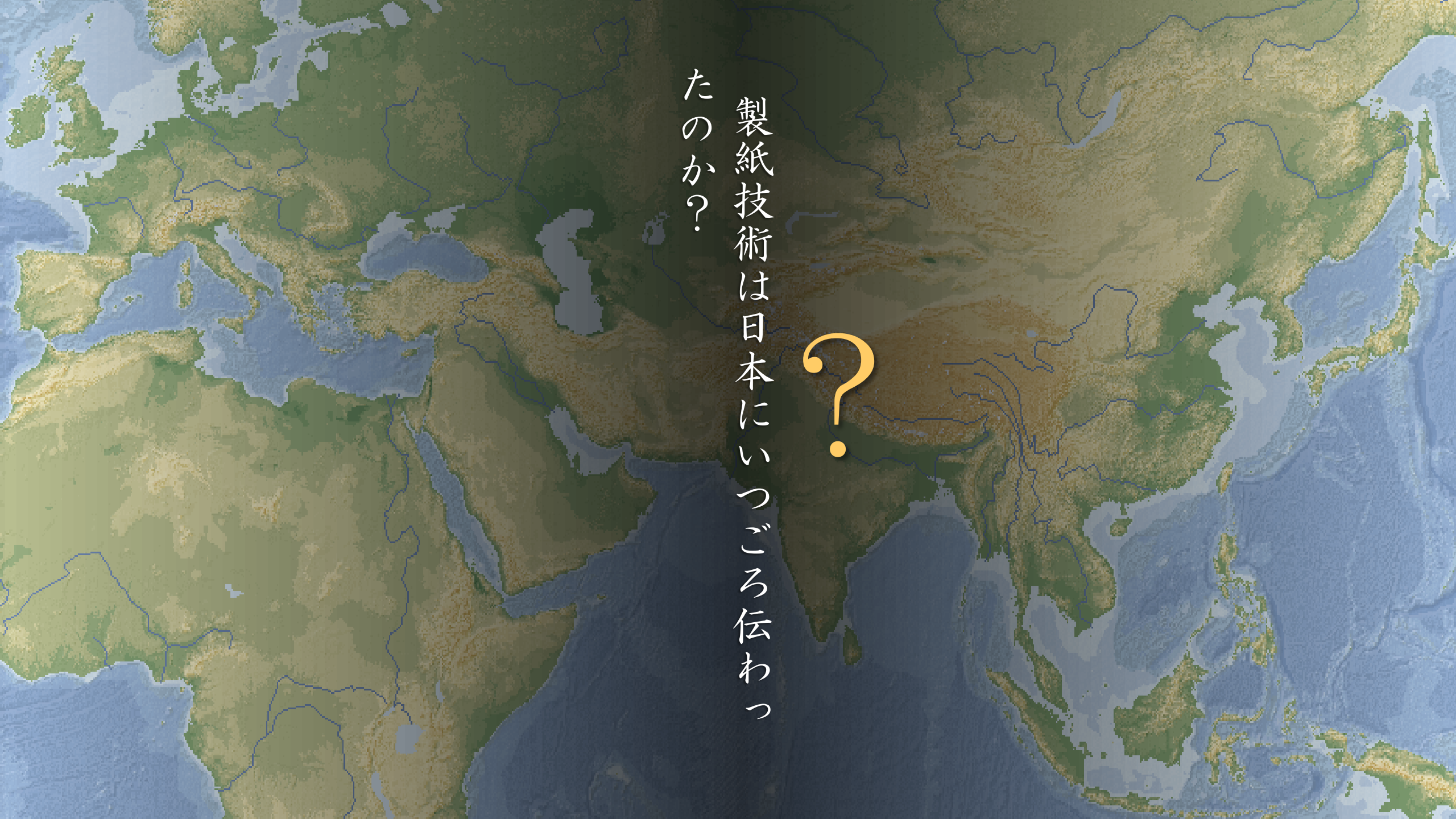
むかしは紙がなかったため、竹簡を使っていたが、それは敬意を示すためではない。現在、竹簡を使って
いるものは、すべて黄紙に代之よ。

桓玄①偽事(太平御覧② 卷六百五)

【解説】

①桓玄(かんげん、三六九〜四〇四)：東晋安帝の元興二年(四〇三年)、帝位を篡奪して国号を楚と改めたが、翌年、劉裕らの軍に敗れ、殺された。

②太平御覧：北宋時代、李昉らが勅を奉じて編纂した類書(百科事典)。九七七年に編纂を開始し、九八三年に完成。一〇〇〇巻。



製紙技術は日本にいつごろ伝わ
たのか？

？

610年、高麗僧・曇徴が日本に製紙技術を伝える



1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265

蜀 221-263

呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

竹帛の時代

紙の誕生

後漢の崔瑗が葛龔に紙の抄本を贈る

東晋の桓玄、禁簡令を出す(403)

高麗僧曇徴が日本に製紙術を伝える(610)

紙の時代

明の宋応星、天工開物を著わす(1637)

德摩呂龍二人而副百濟人等送本國至于對
馬以道人等十一皆請之欲留乃上表而留之
因令伴元興寺秋九月小野臣妹子至自大唐
唯通事福利不來向來市肆曰百濟王命以書
十八年春三月高麗王貢上僧曇徵法定曇徵
知五經且能作彩色及紙墨并造碾磑蓋造碾
磑始于是時歟秋七月新羅使人沙喙部奈未
竹世土與任那使人喙部大舍首智買到于筑

紫九月遣使召新羅任那使人冬十月己丑朔
丙申新羅任那使人臻於京是日命額田部連

製紙技術の日本への伝播

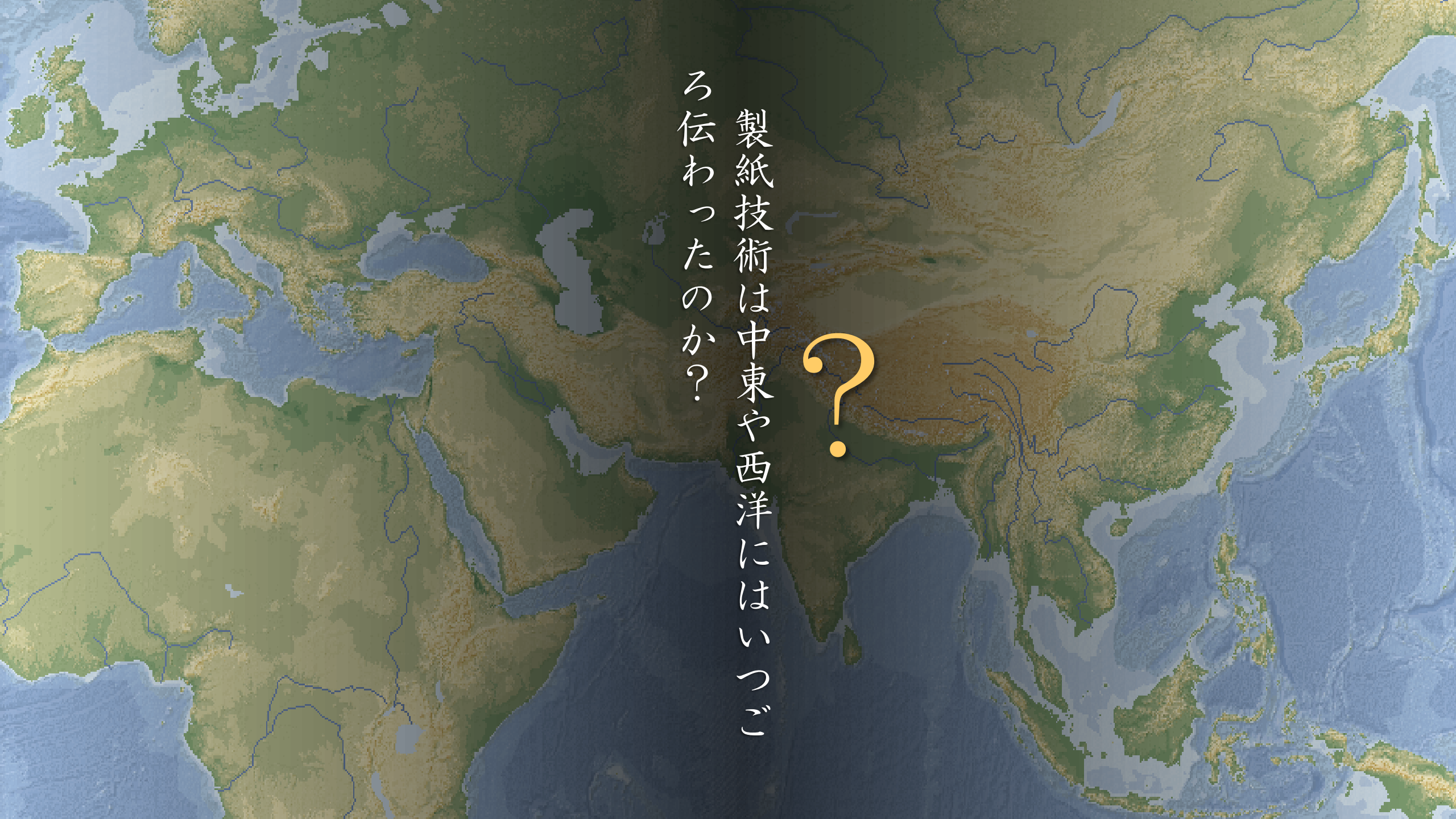
十八年^①春三月、高麗王が僧の曇徵・
法定を献上した。曇徵は五經を知り、
また顔料や紙・墨、さらに碾磑^②を
造った。

【注釈】

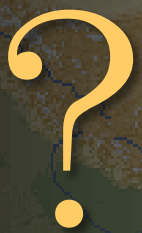
①(推古天皇の)十八年：西暦六一〇年

②碾磑(てんがい)：中国古代の自動脱穀製粉装置。

脱穀用のつき臼と製粉用のすり臼の総称で、動力
には水車が使われた。



製紙技術は中東や西洋にはいつごろ伝わったのか？



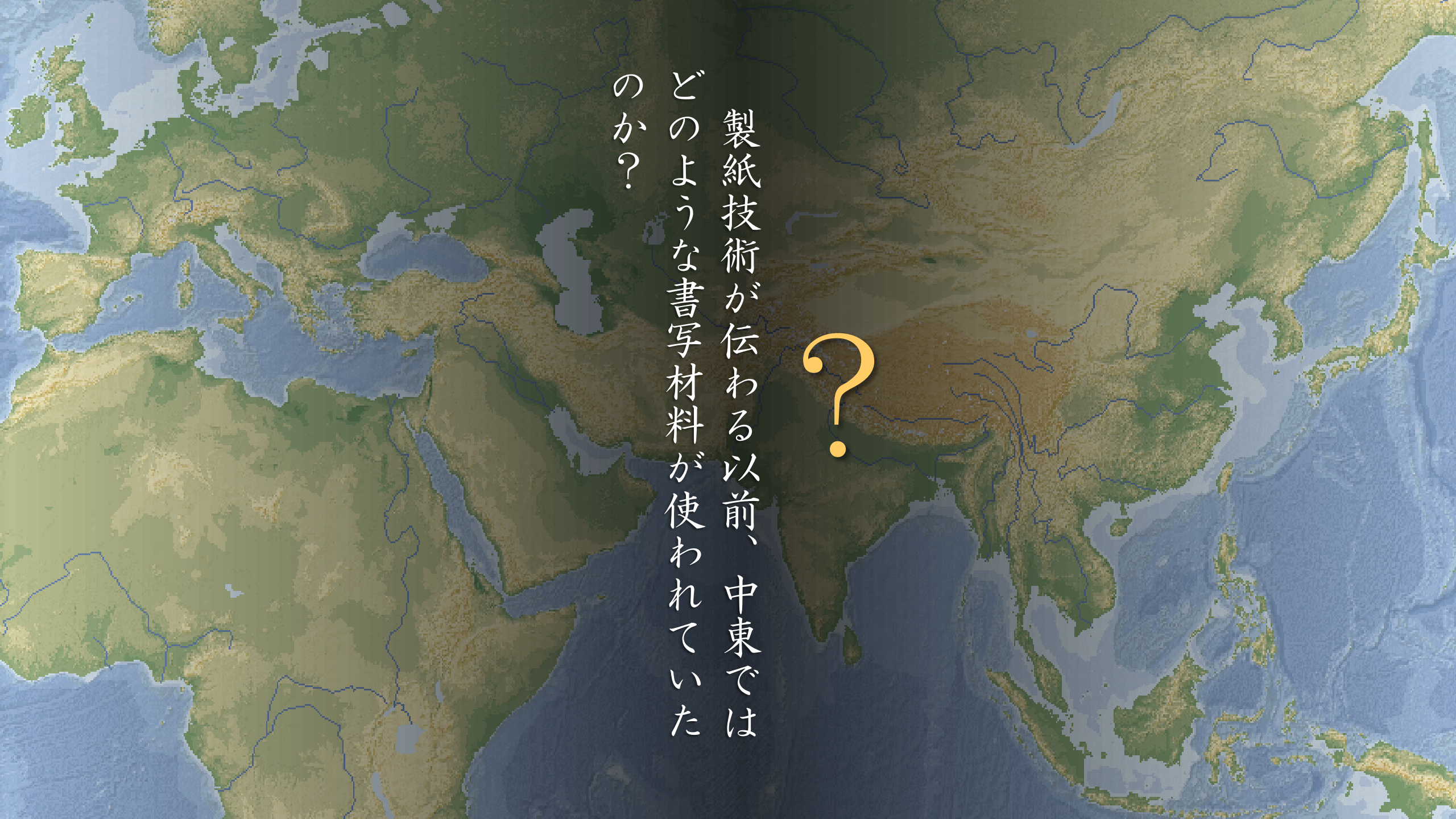


751年、タラスの戦い

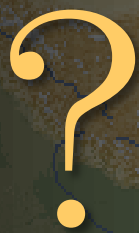
10世紀、カイロに製紙工場を建設

793年、バグダッドに製紙工場を建設





製紙技術が伝わる以前、中東では
どのような書写材料が使われていた
のか？



パピルス

古代エジプトでは、カヤツリグサ科の植物の茎の髄を使い、パピルス(Papyrus、paperの語源)と呼ばれる書写材料が作られていた。

カヤツリグサ科の植物の茎とパピルス



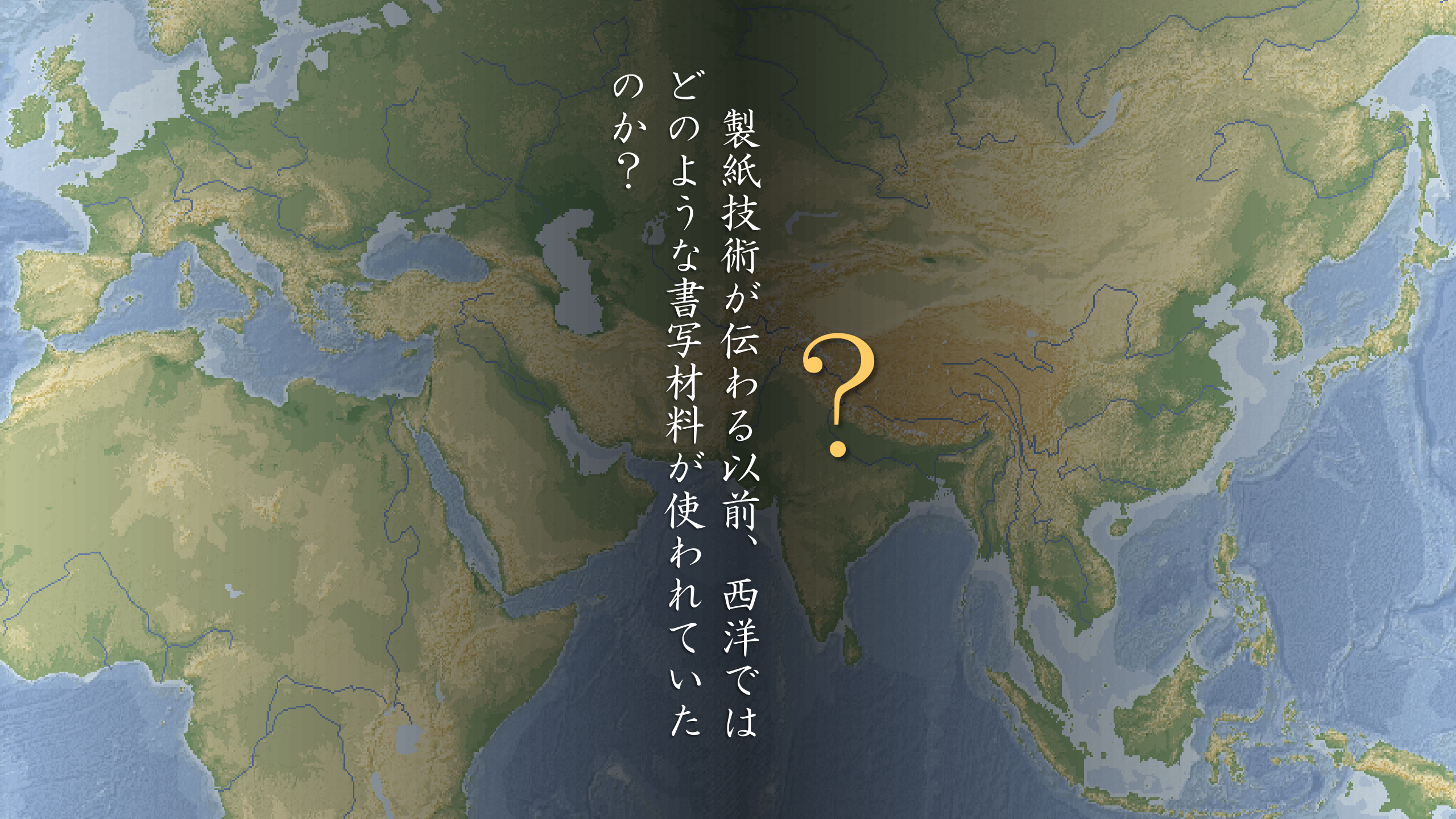
1151年、ムーア人がスペインに
製紙工場を建設

751年、タラスの戦い

10世紀、カイロに製紙
工場を建設

793年、バグダッドに
製紙工場を建設





製紙技術が伝わる以前、西洋では
どのような書写材料が使われていた
のか？

中東やヨーロッパでは、動物の皮から作られた羊皮紙(Parchment)が広く使われていた。

羊皮紙

羊皮紙に書かれたシナイ写本(4世紀?)





1151年、ムーア人がスペインに
製紙工場を建設

610年、高麗僧・曇徴が日
本に製紙技術を伝える

751年、タラスの戦い

10世紀、カイロに製紙
工場を建設

793年、バグダッドに
製紙工場を建設





宣紙の伝統的製紙法

明代に描かれた『孔子聖蹟図』に
は、紙の書籍が描かれているが、画
家はなぜこのような誤りを犯したの
か？



(明) 佚名『孔子聖蹟図』(杏壇礼楽、山東省曲阜孔府蔵)

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0	漢 206BC-220AD		
100			
200	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
300	晋 265-316		
400	五胡十六国時代		東晋 317-420
500	北朝 439-589		南朝 420-589
600	隋 581-619		
700	唐 618-907		
800			
900	五代十国 907-960		
1000	遼	北宋 960-1127	
1100		南宋 1127-1279	
1200	金 1115-1234	南宋 1127-1279	
1300	元 1271-1368		
1400	明 1368-1644		
1500			
1600			
1700	清 1616-1912		
1800			
1900	中華民國 1912-1949		
2000	中華人民共和国 1949-		

竹帛の時代

紙の誕生

後漢の崔瑗が葛龔に紙の抄本を贈る

東晋の桓玄、禁簡令を出す(403)

紙の時代

明の宋応星、天工開物を著わす(1637)

〔明〕宋応星『天工開物』

明末の崇禎十（一六三七）年に江西省奉新県の学者・宋応星が出版した中国の産業技術書。全三巻。当時の主要な産業を網羅し、その過程を挿絵入りで紹介している。

中国ではほとんど評価されなかったが、日本では江戸時代に貝原益軒が大和本草（一七〇八年序）に引用し、一七七一年には和刻本が出版された。



凡紙質用楮樹一名皮與桑穰芙蓉膜等諸物者爲皮
紙用竹蘇者爲竹紙精者極其潔白供書文印文東啓
用粗者爲火紙包裏紙所謂殺青以斬竹得名汗青以
煮歷得名簡卽已成紙名乃煮竹成簡後人遂疑削竹
片以紀事而又誤疑韋編爲皮條穿竹札也秦火未經
時書籍繁甚削竹能藏幾何如西番用貝樹造成紙葉
中華又疑以貝葉書經典不知樹葉離根卽漚與削竹
同一可哂也

造竹紙

凡造竹紙事出南方而閩省獨專其盛當筍生之後看
視山窩深淺其竹以將生枝葉者爲上料節界芒種則
登山砍伐截斷五七尺長就于本山開塘一口汪水其
忘れられた竹簡・木簡
漂浸恐塘水時則用規通引不斷瀑流注入
「簡」はすでに紙になったものをい
う。移形「簡」は竹を煮て作るが、のち
の人は竹片を削って記録したものと泥
考え、また「韋編」を竹札をつなぐ
皮ひもと誤解したのである。益定受煮八日

(明)宋応星『天工開物』卷十三殺青・紙料

【解説】

製紙技術が高度に発展した明代に生まれた宋応
星は、古代において竹簡が使われていたことを否
定し、これを竹紙の誤りであると述べている。

凡紙質用楮樹一名穀樹皮與桑穰芙蓉膜等諸物者爲皮
紙用竹麻者爲竹紙精者極其潔白供書文印文東啓
用粗者爲火紙包裏紙所謂殺青以斬竹得名汗青以
煮歷得名簡卽已成紙名乃煮竹成簡後人遂疑削竹
片以紀事而又誤疑韋編爲皮條穿竹札也秦火未經
時書籍繁甚削竹能藏幾何如西番用貝樹造成紙葉
中華又疑以貝葉書經典不知樹葉離根卽漚與削竹
同一可哂也
造竹紙

凡造竹紙事出南方而閩省獨專其盛當荀生之後看
視山高深淺其竹以將生枝葉者爲上料節界芒種則
登山砍伐截斷五七尺長就于本山開塘一口汪水其
忘れられた竹簡・木簡

浸秦が焚書を行ふ前には、書籍の数は
は厖大であつた。竹片ではどれだけ
所蔵することができらうか。鍋上泥
西域では貝樹の葉で紙を作るが、十餘
中国では貝樹の葉に經典を書くと誤
解している。葉は竹片と同じく、根
を離れればすぐに枯れてしまうこと
を知らないのである。可笑しいこと
だ。



貝多羅樹 (オウギヤシ) の葉で作る貝多羅葉經典(貝多羅 pattraサンスクリット語で葉の意)

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265

蜀 221-263

呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代

東晋 317-420

北朝 439-589

南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼

北宋 960-1127

金 1115-1234

南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

竹帛の時代

紙の誕生

後漢の崔瑗が葛龔に紙の抄本を贈る

東晋の桓玄、禁簡令を出す(403)

高麗僧曇徴が日本に製紙術を伝える(610)

紙の時代

ムーア人がスペインに製紙工場を建設(1151)

明の宋応星、天工開物を著わす(1637)

The background is a collage of three traditional Chinese paintings. The left panel shows a group of people in a garden with a large tree and a stone monument. The middle panel shows a figure in white robes standing on a rocky outcrop over water. The right panel shows a man and a woman in white robes sitting together on a bench, with a large vase and a bowl in the foreground.

第三節

焦仲卿の妻

後漢末の実話を描いた長編叙事詩

後漢末の悲劇を謡った長編叙事詩

紙という安価な書写材料の誕生により、中国ではそれまでにない長編の民間文学作品が記録されるようになる。

玉台新詠①卷一には、後漢の末に起こった実話をもとに作られた、千七百字あまりに及ぶ長編叙事詩「古詩焦仲卿の妻の為に作る」(一名「孔雀東南飛」)が収録されている。

【解説】所見涕泣起踟躕與我期何所乃期山南陽
①南北朝時代の梁の簡文帝(在位五四九〜五五二)が太子のころ徐陵に編集させた恋愛詩歌集「長歡息遠望涼風至俯仰正衣服與我期何所乃期山北岑日暮兮不來淒風吹我衿望君不能坐悲

苦愁我心愛身以何爲惜我華色時中情既欸欸
然後尅密期褰衣躡茂草謂君不我欺廁此醜陋
質徙倚無所之自傷失所欲淚下如連絲

古詩爲焦仲卿妻作并序

無名氏

漢末建安中廬江府小吏焦仲卿妻劉氏爲仲卿母所遣自誓不嫁其家逼之乃沒水而死仲卿聞之亦自縊於庭樹時傷之爲詩云爾

孔雀東南飛五里一徘徊十三能織素十四學裁衣十五彈箏篴十六誦詩書十七爲君婦心中常

後漢末の悲劇を謡った長編叙事詩

前漢の武帝の時代、董仲舒の献策により儒教が国教化されると、人々の生活は家父長制的な儒教道德、いわゆる礼教制度による厳しい制約を受けるようになった。

男女の自由な恋愛が否定される中、純粹な愛情を貫こうとした一組の若い夫婦がいた。焦仲卿とその妻・劉蘭芝である。人々は二人の悲劇を後世に伝えようと一篇の長編叙事詩を作った。「焦仲卿の妻の為に作る」という古詩である。

山北岑日暮兮不來
淒風吹我衿望君不能坐悲

苦愁我心愛身以何爲惜我華色時中情既款款
然後尅密期褰衣躡茂草謂君不我欺廁此醜陋
質徙倚無所之自傷失所欲淚下如連絲

古詩爲焦仲卿妻作并序

無名氏

漢末建安中廬江府小吏焦仲卿妻劉氏爲仲卿母所遣自誓不嫁其家逼之乃沒水而死仲卿聞之亦自縊於庭樹時傷之爲詩云爾

孔雀東南飛五里一徘徊十三能織素十四學裁衣十五彈箏篴十六誦詩書十七爲君婦心中常

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC	
1500BC		
1400BC		
1300BC		
1200BC		
1100BC	周 1046BC-771BC	
1000BC		
900BC		
800BC		
700BC		
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC	
500BC		
400BC		
300BC		
200BC		
100BC	秦 221BC-207BC	
0		
100	漢 206BC-220AD	
200		
300		
400		
500		
600	魏 220-265 蜀 221-263 呉 222-280 晋 265-316	
700		
800		
900		
1000		
1100	五胡十六国時代 東晋 317-420	
1200		
1300		
1400		
1500		
1600	北朝 439-589 南朝 420-589	
1700		
1800		
1900		
2000		
	隋 581-619	
	唐 618-907	
	五代十国 907-960	
	遼 北宋 960-1127	
	金 1115-1234 南宋 1127-1279	
	元 1271-1368	
	明 1368-1644	
	清 1616-1912	
	中華民國 1912-1949 中華人民共和國 1949-	

漢の武帝、儒教を国教化(136BC)

儒教の弊害が社会問題化

儒教の封建的婚姻観

父母の命、媒妁の言^①を待たず、穴隙（あな）を鑽（う）がちて相窺（う）かがい、墻（かき）踰（こ）えて相従わば、則ち父母、国人、皆之を賤（いや）しまん。

孟子卷第六滕文公篇下

【注釈】

①父母の命、媒妁の言：結婚は父母の命と媒酌人の言に従って行わなければならないという意。孟子のこの言葉は封建的な婚姻観を象徴するものとして、後世しばしば引用された。丈夫乎。子未學禮乎。丈夫之冠也。父命之。女子之嫁也。母命之。往送之。門戒之曰。往之女家。必敬必戒。無違夫子。以順爲正者。妾婦之道也。居天下之廣居。立天下之正位。行天下之大道。得志與民由之。不得志獨行其道。富貴不能淫。貧賤不能移。威武不能屈。此之謂大丈夫。○周霄問曰。古之君子仕乎。孟子曰。仕。傳曰。孔子三月無君則皇

周曰仕處三層而難仕也
二層而會中
多少踰躍要
化是之局也

皇如也。出疆必載質。公明儀曰。古之人三月無君則皇。三月無君則弔。末以急乎。曰。士之失位也。猶諸侯之失國家也。禮曰。諸侯耕助以共粢盛。夫人蠶繅以爲衣服。犧牲不成。粢盛不潔。衣服不備。不敢以祭。惟士無田。則亦不祭。牲殺。粢盛。衣服。不備。不敢以祭。則不敢以宴。亦不足弔乎。出疆必載質。何也。曰。士之仕也。猶農夫之耕也。農夫豈爲出疆。舍其耒耜哉。曰。晉國亦仕國也。未嘗聞仕如此其急。仕如此其急也。君子之難仕。何也。曰。丈夫生而願爲之有室。女子生而願爲之有家。父母之心。人皆有之。不待父母之命。媒妁之言。鑽穴隙相窺。踰墻相從。則父母國人皆賤之。古之人未嘗不欲仕也。又惡不由其道。不由其道而

儒教の封建的婚姻觀

父母の命や媒酌の言①を待たずに、男女がこっそりのぞきあったり、つきあったりすれば、父母や世間の人々はみな彼らを輕蔑するだらう。

孟子卷第六滕文公篇下

【注釈】

①父母の命、媒妁の言：結婚は父母の命と媒酌人の言に従って行わなければならいという意。孟子のこの言葉は封建的な婚姻觀を象徵するものとして、後世しばしば引用された。丈夫乎。子未學禮乎。丈夫之冠也。父命之。女子之嫁也。母命之。往送之。門戒之曰。往之女家。必敬必戒。無違夫子。以順爲正者。妾婦之道也。居天下之廣居。立天下之正位。行天下之大道。得志與民由之。不得志獨行其道。富貴不能淫。貧賤不能移。威武不能屈。此之謂大丈夫。○周霄問曰。古之君子仕乎。孟子曰。仕。傳曰。孔子三月無君。則皇

皇如也。出疆必載質。公明儀曰。古之人三月無君則
弔。三月無君則弔。木以急乎。曰。土之失位也。猶諸侯
之失國家也。禮曰。諸侯耕助以共粢盛。夫人蠶繅以
爲衣服。犧牲不成。粢盛不潔。衣服不備。不敢以祭。惟
主無田。則亦不祭。牲殺。哭。盟。衣服不備。不敢以祭。則
不敢以宴。亦不足弔乎。出疆必載質。何也。曰。土之仕

國亦仕國也。未嘗聞仕如此其急。仕如此其急也。君子之難仕何也。曰。丈夫生而願爲之有室。女子生而願爲之有家。父母之心。人皆有之。不待父母之命。媒妁之言。鑽穴隙相窺。踰牆相從。則父母國人皆賤之。古之人未嘗不欲仕也。又惡不由其道。不由其道而

周出仕處三
層而難仕外
一層而層中
多少踴躍要
化是文局也

一層而層中
多少踴躍變
化是文局也

化是文局也

化是文局也

兩章設喻
天網恢恢
各異

天同地異
各異

孟子(京都大学附属図書館所蔵)

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0			
100	漢 206BC-220AD		
200			
300			
400			
500			
600	魏 220-265 蜀 221-263 呉 222-280 晋 265-316		
700			
800	五胡十六国時代 東晋 317-420		
900			
1000	北朝 439-589 南朝 420-589		
1100			
1200	隋 581-619		
1300			
1400	唐 618-907		
1500			
1600	五代十国 907-960		
1700			
1800	遼 北宋 960-1127		
1900			
2000	金 1115-1234 南宋 1127-1279		
	元 1271-1368		
	明 1368-1644		
	清 1616-1912		
	中華民国 1912-1949 中華人民共和国 1949-		

漢の武帝、儒教を国教化(136BC)

儒教の弊害が社会問題化

焦仲卿とその妻の心中事件が起こる

南朝梁の徐陵ら玉台新詠を編纂(6世紀)

恋愛詩歌を集めた詩歌集Ⅱ玉台新詠

玉台新詠は、梁の簡文帝（在位五四九〜五五一）が太子であつたころ、徐陵に編集させた詩歌集。十卷。簡文帝の兄・昭明太子の文選が各ジャンルにわたって詩・賦・文章の標準を示したのに対し、玉台新詠は恋愛詩歌だけを収録しているところに特徴がある。

この玉台新詠の中に千七百字あまりに及ぶ長編叙事詩・焦仲卿の妻（古詩為焦仲卿妻作、一名孔雀東南飛）が収録されている。矜望君不能坐悲

苦愁我心愛身以何為惜我華色時中情既款款
然後尅密期褰衣躡茂草謂君不我欺廁此醜陋
質徙倚無所之自傷失所欲淚下如連絲

古詩為焦仲卿妻作并序

無名氏

漢末建安中廬江府小吏焦仲卿妻劉氏為仲卿母所遣自誓不嫁其家逼之乃沒水而死仲卿聞之亦自縊於庭樹時傷之為詩云爾

孔雀東南飛五里一徘徊十三能織素十四學裁衣十五彈箏篋十六誦詩書十七為君婦心中常

三百年間伝えられた長編叙事詩

後漢末の建安年間（西暦一九六～二二〇）、廬江府（安徽省廬江県）の小役人である焦仲卿に、劉氏（名は蘭芝）という妻がいた。

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作

【解説】

この詩の冒頭には、これが後漢末に起こった実際の事件に基づくことを記した序が付されている。

山北岑日暮兮不來淒風吹我衿望君不能坐悲

苦愁我心愛身以何為惜我華色時中情既欸欸
然後尅密期褰衣躡茂草謂君不我欺廁此醜陋
質徙倚無所之自傷失所欲淚下如連絲

古詩為焦仲卿妻作并序

無名氏

漢末建安中廬江府小吏焦仲卿妻劉氏為仲卿母所遣自誓不嫁其家逼之
乃沒水而死仲卿聞之亦自縊於庭樹
時傷之為詩云爾

孔雀東南飛五里一徘徊十三能織素十四學裁
衣十五彈箏篳十六誦詩書十七為君婦心中常



安徽省廬江縣

三百年間伝えられた長編叙事詩

孔雀は東南に飛び

五里に一たび徘徊す

十三にして能く素を織り

十四にして衣を裁つを学び

十五にして箜篌を弾き

十六にして詩書を誦（そらん）み

十七にして君の婦と為り

心中常に苦悲す

日中兮不來凱風吹我裳道遥莫誰觀望君愁我

腸與我期何所乃期西山側日夕兮不來躑躅長

歡息遠望涼風至俯仰正衣服與我期何所乃期

山北岑日暮兮不來淒風吹我衿望君不能坐悲

苦愁我心愛身以何爲惜我華色時中情既欸欸

然後尅密期褰衣躡茂草謂君不我欺廁此醜陋

質徙倚無所之自傷失所欲淚下如連絲

古詩爲焦仲卿妻作并序

無名氏

漢末建安中廬江府小吏焦仲卿妻劉

氏爲仲卿母所遣自誓不嫁其家逼之

乃沒水而死仲卿聞之亦自縊於庭樹

時傷之爲詩云爾

孔雀東南飛五里一徘徊十三能織素十四學裁

衣十五彈箜篌十六誦詩書十七爲君婦心中常

玉台新詠卷一古詩爲焦仲卿妻作

三百年間伝えられた長編叙事詩

一対の孔雀が

東南へ飛んでいきます

五里飛んでは

別れを惜しんでいます

十三で機織を覚え

十四で裁縫を習い

十五で箏篋を弾き

十六で詩書を学びました

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作



三百年間伝えられた長編叙事詩

十七であなたに嫁いでは
いつも悲しいことばかり。

あなたは役所務めの身

お仕事が第一

でも留守を守るわたしは

あなたに会うことも

ままなりません

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作



三百年間伝えられた長編叙事詩

劉蘭芝は仲卿の母に家を追い出されてしまった。投金薄盡搔頭何以慰別離耳後玳瑁釵何以答歡悅純素三條襦何以結愁悲白絹双中衣與我期何所乃期東山隅日旰子不來谷風吹我襦遠望無所見涕泣起踰踰與君期何所期為焦仲卿妻作

日中兮不來凱風吹我裳道遥莫誰覩望君愁我腸與我期何所乃期西山側日夕兮不來躑躅長歡息遠望涼風至俯仰正衣服與我期何所乃期山北岑日暮兮不來淒風吹我衿望君不能坐悲

苦愁我心愛身以何為惜我華色時中情既款款然後尅密期褰衣躡茂草謂君不我欺廁此醜陋質徙倚無所之自傷失所欲淚下如連絲

古詩為焦仲卿妻作并序 無名氏

漢末建安中廬江府小吏焦仲卿妻劉氏為仲卿母所遣自誓不嫁其家逼之乃沒水而死仲卿聞之亦自縊於庭樹時傷之為詩云爾

孔雀東南飛五里一徘徊十三能織素十四學裁衣十五彈箏篴十六誦詩書十七為君婦心中常

三百年間伝えられた長編叙事詩

「鶏の声とともに機を織りはじめ、毎夜休むことなく三日で五匹の布を織りました。でも、お義母様は遅い遅いと小言ばかり。」

機を織るのが遅いではありません。わたしがこの家にふさわしくないので。私のような役立たずは、邪魔なだけ。お父さま、お母さまにお願いしました。早く離縁してくださいと。」

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作



三百年間伝えられた長編叙事詩

焦仲卿はそれを聞くと堂に上って
母親にいいました。

「私はようやく役所勤めがかない妻
を娶ることができました。これから
は二人で末永く、あの世でもよき伴
侶でいたいと暮らしてきました。な
のに妻のどこがお気にめさず、その
ようにつらく当たるのでしょう。」

玉台新詠巻一古詩為焦仲卿妻作



三百年間伝えられた長編叙事詩

母親はいった。

「何をオロオロしているの。あのよ
うな礼儀知らずのわがまま娘。前か
ら腹にすえかねていました。身勝手
は許しません。東の家によい娘さん
がいます。その容貌は秦の羅敷のよ
う。愛らしさはこの上なく、母さん
がその娘を嫁に迎えてあげましょう。
だから早く追い出さない。未練な
ど持つてはいけません。」

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作



三百年間伝えられた長編叙事詩

仲卿はひざまづいていいました。

「お母さん、お願いです。もし妻を追いつ出すのなら、私は二度と結婚はしません。」

母親はそれを聞くと寝台を叩いて怒りました。

「なんという親不孝者、嫁の肩ばかりもつとは。そんな恩知らずのことなど、聞く耳はもちません。」

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作



三百年間伝えられた長編叙事詩

嫁ぎ先を追ひ出された蘭芝は、
けっして再婚はしませんでした、仲卿に
誓いを立てる。何以結愁悲白絹双中衣與我
期何所乃期東山隅日旰子不來谷風吹我襦遠

望無所見涕泣起踟躕
日中兮不來凱風吹我裳道遥莫誰覩望君愁我
腸與我期何所乃期西山側日夕兮不來躑躅長
歡息遠望涼風至俯仰正衣服與我期何所乃期
山北岑日暮兮不來淒風吹我衿望君不能坐悲

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作

苦愁我心愛身以何為惜我華色時中情既款款
然後尅密期褰衣躡茂草謂君不我欺廁此醜陋
質徙倚無所之自傷失所欲淚下如連絲

古詩為焦仲卿妻作并序 無名氏

漢末建安中廬江府小吏焦仲卿妻劉
氏為仲卿母所遣自誓不嫁其家逼之
乃沒水而死仲卿聞之亦自縊於庭樹
時傷之為詩云爾

孔雀東南飛五里一徘徊十三能織素十四學裁
衣十五彈箏篴十六誦詩書十七為君婦心中常

三百年間伝えられた長編叙事詩

蘭芝は門を出て車に乗りました。
落ちる涙はまるで雨のよう。仲卿の
馬が前をいき、蘭芝の車がその後
に従います。ガタゴトと音を立て、二
人の車馬は街道口へ。
仲卿は馬を下りて車に入り、うつむ
いてこうつぶやきます。

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作



三百年間伝えられた長編叙事詩

「きみと別れるものか。しばらく里にもどってもらうだけさ。僕はいま役所にいくが、すぐに迎えに戻ってくる。けっして君を裏切ったりはしないよ。」

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作



三百年間伝えられた長編叙事詩

蘭芝は仲卿にいいました。

「優しい言葉をありがとう。あなたがそうまでいうのなら、私もあなたを待ちましよう。あなたは石臼となり、わたしは蒲葦となりましよう。蒲葦は生糸のように強く、石臼はけっして離れることはないのですから。」

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作



三百年間伝えられた長編叙事詩

（実家に帰った蘭芝は）家族の者に再婚を迫られる。慰別離耳後玳瑁釵何以答

歡悅純素三條裾何以結愁悲白絹双中衣與我期何所乃期東山隅日旰子不來谷風吹我襦遠望無所見涕泣起踰牆

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作

日中兮不來凱風吹我裳道遙莫誰覩望君愁我腸與我期何所乃期西山側日夕兮不來躑躅長歡息遠望涼風至俯仰正衣服與我期何所乃期山北岑日暮兮不來淒風吹我衿望君不能坐悲

苦愁我心愛身以何為惜我華色時中情既款款然後尅密期褰衣躡茂草謂君不我欺廁此醜陋質徙倚無所之自傷失所欲淚下如連絲

古詩為焦仲卿妻作并序 無名氏

漢末建安中廬江府小吏焦仲卿妻劉氏為仲卿母所遣自誓不嫁其家逼之乃沒水而死仲卿聞之亦自縊於庭樹時傷之為詩云爾

孔雀東南飛五里一徘徊十三能織素十四學裁衣十五彈箏篴十六誦詩書十七為君婦心中常

三百年間伝えられた長編叙事詩

蘭芝が実家に戻って十日あまりすると、県の大官が媒酌人をよこしていった。

「大官の三男様は優しいお方で、世間に二人とない人物。歳は十八、九、弁もたち才もあります」。

母は娘にいった。「お受けして嫁ぎなさい」と。

玉台新詠巻一古詩為焦仲卿妻作



三百年間伝えられた長編叙事詩

蘭芝の兄はこれを聞くと、残念がって胸を痛め、もどかしく妹にいう。

「将来のことをどうして考えないのか。前に嫁いだのは府吏、今度は県令の若様。その差は天地ほど違い。嫁げばお前も富貴の身。若様に嫁がず、これからどうしようというのだ。」

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作



三百年間伝えられた長編叙事詩

つ
家族の者に再婚を迫られた蘭芝は、
いかに水に身を投げて死んでしまう。

期何所乃期東山隅日行子不來谷風吹我濡臺
望無所見涕泣起踟躕與我期何所乃期山南陽
日中兮不來凱風吹我裳道遥莫誰覩望君愁我
腸與我期何所乃期西山側日夕兮不來躑躅長
歡息遠望涼風至俯仰正衣服與我期何所乃期
山北岑日暮兮不來淒風吹我衿望君不能坐悲

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作

苦愁我心愛身以何為惜我華色時中情既款款
然後尅密期褰衣躡茂草謂君不我欺廁此醜陋
質徙倚無所之自傷失所欲淚下如連絲

古詩為焦仲卿妻作并序 無名氏

漢末建安中廬江府小吏焦仲卿妻劉
氏為仲卿母所遣自誓不嫁其家逼之
乃沒水而死仲卿聞之亦自縊於庭樹
時傷之為詩云爾

孔雀東南飛五里一徘徊十三能織素十四學裁
衣十五彈箏篴十六誦詩書十七為君婦心中常

三百年間伝えられた長編叙事詩

黄昏時も過ぎ、人々が寝静まった
ころ、蘭芝は自分の命も今日まで、
この世とお別れと、裳裾を上げ、靴
を脱ぎ、池に身を投げました。

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作



三百年間伝えられた長編叙事詩

その知らせを聞いた仲卿も、庭の木に首を吊って自ら命を絶った。

期何所乃期東山隅日行子不來谷風吹我濡臺望無所見涕泣起踟躕與我期何所乃期山南陽日中兮不來凱風吹我裳道遥莫誰覩望君愁我腸與我期何所乃期西山側日夕兮不來躑躅長歡息遠望涼風至俯仰正衣服與我期何所乃期山北岑日暮兮不來淒風吹我衿望君不能坐悲

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作

苦愁我心愛身以何為惜我華色時中情既款款然後尅密期褰衣躡茂草謂君不我欺廁此醜陋質徙倚無所之自傷失所欲淚下如連絲

古詩為焦仲卿妻作并序

無名氏

漢末建安中廬江府小吏焦仲卿妻劉氏為仲卿母所遣自誓不嫁其家逼之乃沒水而死仲卿聞之亦自縊於庭樹時傷之為詩云爾

孔雀東南飛五里一徘徊十三能織素十四學裁衣十五彈箏篴十六誦詩書十七為君婦心中常

三百年間伝えられた長編叙事詩

その知らせを聞いた仲卿も、もう
二度と蘭芝に会えないのかと、庭の
木の下をさまよい歩き、東南の枝に
首をつりました。

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作



三百年間伝えられた長編叙事詩

詩を作つたという。

當時の人々は二人を哀れみ、この

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作

期何所乃期東山隅日下子不來谷風吹我襦遠望無所見涕泣起踟躕與我期何所乃期南山陽日中兮不來凱風吹我裳道遙莫誰覩望君愁我腸與我期何所乃期西山側日夕兮不來躑躅長歡息遠望涼風至俯仰正衣服與我期何所乃期山北岑日暮兮不來淒風吹我衿望君不能坐悲

苦愁我心愛身以何為惜我華色時中情既款款然後尅密期褰衣躡茂草謂君不我欺廁此醜陋質徙倚無所之自傷失所欲淚下如連絲

古詩為焦仲卿妻作并序 無名氏

漢末建安中廬江府小吏焦仲卿妻劉氏為仲卿母所遣自誓不嫁其家逼之乃沒水而死仲卿聞之亦自縊於庭樹時傷之為詩云爾

孔雀東南飛五里一徘徊十三能織素十四學裁衣十五彈箏篴十六誦詩書十七為君婦心中常

三百年間伝えられた長編叙事詩

両家は二人を華山の麓に合葬しました。周囲に植えた木々は互いに枝葉を絡ませあい、その間には一つのいの鳥、名を鴛鴦といます。天を仰いで鳴きあう声は、毎夜深夜に及び、旅人は足を止め、寡婦たちは起きてさまよい歩きます。

後の世の人々よ、どうか二人の物語を忘れないでください。

玉台新詠卷一古詩為焦仲卿妻作



1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0	漢 206BC-220AD		
100			
200			
300			
400			
500	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
600	晋 265-316		
700	五胡十六国時代		
800			
900	東晋 317-420		
1000	南北朝 439-589		
1100			
1200	南朝 420-589		
1300	隋 581-619		
1400	唐 618-907		
1500			
1600			
1700			
1800			
1900	五代十国 907-960		
2000	遼	北宋 960-1127	
	金 1115-1234	南宋 1127-1279	
	元 1271-1368		
	明 1368-1644		
	清 1616-1912		
	中華民国 1912-1949		
	中華人民共和国 1949-		

漢の武帝、儒教を国教化(136BC)

儒教の弊害が社会問題化

焦仲卿とその妻の心中事件が起こる

南朝梁の徐陵ら玉台新詠を編纂(6世紀)

儒教は漢代以降、二千年以上にわたって中国文明の精神的支えとなったが、その一方で国教化した儒教は、人々の自由を奪う多くの因習を生み出していった

五四運動や文革による儒教批判



魯迅が小説「祝福」に描いた祥林嫂



魯迅(1881-1936)

まとめ

一．紙は西暦一〇五年に後漢の蔡倫が発明したとする説は、前漢時代の紙の発見によって修正された。

二．安価な書写材料である紙の普及は中国文化の裾野を広げ、それまでにない長編の民間文学作品が後世に伝えられるようになる。

三．玉台新詠卷一には、後漢以来三百年にわたって歌い継がれてきた、千七百字あまりの長編叙事詩「焦仲卿の妻」が収録されている。

四．儒教は漢代以降、中国文明の精神的支えとなったが、その一方で人々の自由を奪う多くの因習を生み出していった

参考文献

- 陳舜臣『紙の道』（集英社文庫一九九七年）
- 潘吉星著・佐藤武敏訳『中国製紙技術史』（平凡社一九八〇年）
- 潘吉星著『中国古代四大發明』（中国科技大学二〇〇二年未翻訳）
- ピエール・マルク・ドウ・ビアシ『紙の歴史く文明の礎の二千年』（知の再発見叢書一二九、創元社、二〇〇六年）
- 内田泉之助『新釈漢文大系60 玉台新詠』（明治書院一九七四年）
- 小尾郊一、岡村貞雄訳注『古楽府』（東海大学出版会一九八〇年）